

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-52)、  
廃棄物管理施設(27)、MOX燃料加工施設(2-21))」

2. 日時：令和5年4月14日(金) 14時00分～16時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、瀬戸川安全審査専門職、清水係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社 決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者

松本 執行役員 技術本部副本部長(土木建築) 他11名

関西電力株式会社 原子力事業本部

プラント・保全技術グループマネージャー 他1名

四国電力株式会社 原子力本部 原子力部 サイクル技術グループ副リーダー

北陸電力株式会社 原子力本部 原子力部 原子燃料技術チーム 主任

東電設計株式会社 土木部 耐震技術部 担当職

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可

申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)

- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000242.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000243.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html)

- ・ 令和5年4月7日

「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和5年4月12日

- 「日本原燃(株)再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年4月13日
- 「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
00:00:02	規制庁の武田です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
00:00:07	本日のヒアリングは、令和4年の12月に申請があった、再処理施設及び廃棄物管理施設の設工認申請について、
00:00:16	今までに提出。
00:00:17	資料を基にです核に行うものになります。
00:00:21	まず規制庁側の出席者を紹介いたします。
00:00:24	本庁側から、瀬川管理官、古作調査官。
00:00:28	技師の上出清水。
00:00:31	横山竹田。
00:00:34	参加が、
00:00:36	羽場先藤原、
00:00:39	瀬戸川。
00:00:40	佐治大岡。
00:00:43	以上になります。
00:00:44	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、それぞれの役割、そして本日のヒアリングでの説明範囲、達成目標について説明をお願いいたします。
00:00:58	はい。
00:00:59	日本連事務局の中浜です。
00:01:02	日本連盟側の出席者を紹介いたします。
00:01:06	まず事務局より、
00:01:08	佐藤。
00:01:09	高橋。
00:01:10	瀬川。
00:01:11	藤野。
00:01:12	中浜。
00:01:14	Steering チームより、決得。
00:01:17	今村。
00:01:19	石原。
00:01:20	関西電力様の榎本様、石黒様。
00:01:25	あと耐震関係でございますけれども、

00:01:28	松本。
00:01:30	広谷。
00:01:32	富樫。
00:01:33	村林。
00:01:35	岡清。
00:01:37	東電設計様より、宇野様。
00:01:40	以上 3ヶ所となります。
00:01:43	本日まで確認いただきます資料でございますけれども、まず初めに、Steering チームの設置及び今後の進め方、
00:01:51	そのあと、耐震関係に移りまして、耐震建物 08、
00:01:57	含む審査会合資料案というものの。
00:02:01	ご確認をいただきたいと思います。
00:02:04	それではまず初め、スケーリングチームの設置及び今後の進め方からご説明を開始させ、
00:02:10	いきます。
00:02:14	はい。人間西原でございます。
00:02:17	ヒアリングチームの設置及び今後の進め方説明ことで確立資料を提出をさせていただいて、
00:02:24	1枚ものの簡単なペーパーですので文字を読むことにします。
00:02:29	ポイントだけ説明をさせ、
00:02:32	1ポツに書いてある目的を達成するべく、今回ヒアリングチームを設置をいたしました。この1ポツの中で当面はと書いてある部分がございます。そちらの
00:02:43	これが本来目指したいところとしては、ここの中に、あと原燃として、こういった要員を引っ張っていける人を育成をして、なるべくここをふやしていきたいという思いで、
00:02:56	当面ということを書かさせていただいております。
00:02:59	2ポツのところシェアカチームの役割でございます。これはヒアリング等々本来こうあるべきと思っているところを、医師会としてはYouTubeとして引っ張っていきたいという思いで、
00:03:12	書かさせていただいております。
00:03:14	はいこういうところを目指してヒアリングにも参画をさせていただくということ、資料の下、

00:03:21	会議の資料を作成するという段階でも関与をさせていただくという こと でございます。
00:03:27	はい。それでこういったステアリング支部を設置した上で、今後の最初 にいうな、地域性基準。
00:03:37	というのが3ポツに書いてあります。
00:03:41	牧田池辺の発足をさせましたJAとでながら今体育館の中にいろいろと 設計をしている部隊との
00:03:49	やりとりをしながら情報を
00:03:51	積み上げていってるところでございますが、やはりこれが軌道に乗ると いうのには、
00:03:56	多少なりとも時間が必要だと思ってございます。
00:03:59	そういう意味でこれまで決めていたアイテムをすべて並行して進めると いうよりは、明日、優先順位を決めて、ベースアイテム絞ってやらせて いただきたいというのが、
00:04:11	そういった数字踏まえた上でやりたいポイントとして今三つ挙げてござ います。
00:04:16	時間の話、今日やります入力地震動昨日部分の話。
00:04:23	②番に書いてあるのが、中旬に、
00:04:26	どうなる。
00:04:29	こちらについてはモック数の方で、下の方、
00:04:33	言いながら進めていくということでお話をさせていただいてますが、や はりこれも当然最初にでも同じような説明ができることを前提に、目的 骨格を作らせていただくということで、
00:04:44	こういった部分は最初にも共通的な進め方として2番がエントリーをさ せていただいでござい。
00:04:51	③番の中に、
00:04:55	やはり
00:04:57	というよりは構成の話。
00:05:05	やはりここは、
00:05:06	計画の整理も含めて
00:05:09	粛々とと言いながら進めさせていただくことが必要かなと思ってござい ます。

00:05:13	この③番の括弧に書かさせていただいたのは、これまで進めさせていただいた中で、やはり
00:05:20	緊急を設置し、
00:05:22	と言う前提の中で、やはり本来どういうふうに整理をしなければいけないのか、どういう点を気をつけなければいけないのかっていうのを生技部の目で2.1度、
00:05:33	全体の整理をした上で、
00:05:35	パートのことを進めさせていただきたいという思いで、③番の確保を書かさせていた
00:05:41	こういった三つの観点で進めさせていただき、これまでやってきた他のアイテムについては、やはり達成目標をしっかりと定めてやっていくというステージをまずしっかりと固めていく必要があると思いますので、
00:05:55	今言った3点を進め、ルートと並行しながら軌道に乗った段階でこの他のアイテムを、徐々に病院としていくという形で進めさせていただければと思っています。
00:06:07	はい。あとは、すいません。もっと言うべきところとかやってきました本来これ、今日ではなくて、今週の早い段階でやらせていただきたいと思いますと思ってますがちょっと思ったほど時間がかかってしまいました。
00:06:18	そこについては大変申し訳ございません。
00:06:21	今日のヒアリングスタートの一発目のIT部の頭で読み込めなかったんですけど、こんな形
00:06:27	ということ。
00:06:29	はい。以上でございます。
00:06:33	規制庁の長谷川ですけれども、
00:06:36	とりあえず、これは
00:06:40	次の審査会合で説明を
00:06:43	すると、0でそのときには、この紙は、
00:06:49	でなくて口頭でやるつもりらしいとは聞いてるんですけれども、
00:06:55	基本的なエッセンスをちゃんと
00:06:58	ぐらいは書いたやつを、
00:07:01	資料で、
00:07:05	やっという方がいと思うんですけど、どうです。

00:07:10	はい、与儀石毛でございます。はい、ありがとうございます。口頭でという話はさせていただきましたが、やはりおっしゃっていただいた通りSS的なものは紙にしておいた方が、
00:07:21	話としても提示いけるかなと思いますので、対応させていただきたいと思います。
00:07:27	あと、規制庁の長谷川ですけど、それと今日の社長との意見交換会を言うと、
00:07:38	これとの関係は、
00:07:41	どんな具合になるんですか。
00:07:50	日本原燃の決得でございます。今日のCCO三田ありがとうございます。
00:07:55	当然、今日社長ですね現状に応じていろいろや、主力的にやっていくという宣言をさせていただきました。その一つが、まずこのSteeringチームの発足だと考えております審査、現在滞っているという認識の
00:08:10	もと、それを加速させるべき、これ本来のスピードで載せるべく、このチームがあるという考えのもとでございます。以上です。
00:08:22	規制庁の長谷川です。わかりました。別に定義、多少の修正なりを踏まえてもいいんですけど、多分今日大事だったことは、
00:08:35	等、
00:08:36	その前に、
00:08:38	今日の社長会見の皆さんの印象はどうだ。
00:08:47	はい。文字起こしされてるのはなかなか発言をしにくいんですけど、
00:08:54	加えて、
00:08:55	ちょっと認識
00:08:56	が社長の受け答えはいろいろあるんですけど、少し中身の方に入った答えが多かったかなと思います本来もう少し、記者のスタッフ、
00:09:07	そういったところを答えている場ではなかったかなというふうな認識を少し持っております。以上です。
00:09:15	規制庁の長谷川ですけど、正直、時間が経つにつれて最終的には、あんまりその目標時期みたいなもの。
00:09:25	ていうのは、
00:09:27	そこまで変えるかどうかという、何か雰囲気や、だんだん薄れてきた印象あった二世を、



00:09:34	やっぱり積み上げた。
00:09:37	法定スケジュール。
00:09:39	ということは社長もおっしゃってたんで、皆さんも、これをしっかりです ね、工程とかいろいろまく日々の行為を行ってヒアリングみたいな 日程から、すべてがやっぱりちゃんと
00:09:54	一定の積み上げた根拠を示せるような形でやっていくと、よって僕ら は、
00:10:05	その根拠なり、できる、そういった実行可能性みたいなところをしま りちゃんと聴取しながら、
00:10:16	やっていくんだらうなど。
00:10:19	思ってます。その結果として、当然時間が変わってくるとかっていうそ ういうことになるのかなとは思いますが、いずれにしろ、
00:10:30	そんな印象だったんですけど。
00:10:33	一緒。
00:10:36	はい。積み上げで何かの他の契約で目標を決めるんじゃなくて作業の積 み上げで目標を決めたいと思います。ただ、残念ながら今、審査のき ちりとゼロ、ほとんど1C6ですね。
00:10:50	巻き上げもできるような所、ペアリングチームとか、今後のヒアリング の精力的な対応で、何とかスピードを上げて、その積み上げが計算で きるようなところまで持っていきたいと。
00:11:03	というのが今の現状だと認識しております。
00:11:05	以上です。
00:11:06	規制庁の長谷川ですわかりました。はい。
00:11:14	あと古作ですけど、
00:11:19	そうは言っても社長からはですね目標を定めるのは大事だというよう なことを後半部分では言われて、それがその管理課でいう変えるつもりは あまりなさそうだとということに、
00:11:31	なってるような気はするんですけど、しっかり実態を踏まえて積み上げ るとことは言われているので、そこをしっかりとやっていただい て、
00:11:42	見直すべきものは見直すというところに、
00:11:46	繋がっていくん。
00:11:48	ようにしなきゃいけないのかなと。

00:11:50	いうふうに思ってます。
00:11:52	そのための今0だから、積み上げができるようなところまで持っていきたいと言われるので、
00:12:02	スピードアップと言われた時には何のこと言ってるのかなと思いましたけど、
00:12:06	身の丈に合ったスピード感っていうのを、
00:12:12	早く見通せるようにしたいということで理解をしましたんで、
00:12:19	ぜひ、見えこちらとしても見えるようにしていただきたいと思ってます。その点で言うと、今日の設置及び今後の進め方という中には、
00:12:30	作業方針なり作業計画を立てるっていうものが、
00:12:35	一つも書かれてないように思っていますね。
00:12:38	それなのに今言ったその見通しを立てるっていうのは何でできるのかってのがよくわからなかったんですけどどうなってますか。
00:12:49	はい。二本木西平でございます。浅井さんのおっしゃってる儀間さんに確かおっしゃる点書いてないで考えていたのは、
00:12:57	この2ポツの役割の中で言う(2)番であったり、カッコハン版であったりということを進めている中で、
00:13:07	どういうスピード感で、どういうことを、どういう順番でやっていくべきなのかも含めて、いわゆる計画に結びつく
00:13:14	部分の、交換整理もですね、ステアリングの会をしながらやっていくということを念頭に思っておりました。はい。
00:13:28	規制庁古作ですけど、
00:13:32	関与していったって言葉自体が私はその Steering チームとしての位置付けがおかしいんじゃないかなと思う。
00:13:41	出て、
00:13:43	前回面談でお話したところでずっと Steering チームか、方針を決め、
00:13:50	計画を立て、
00:13:52	作業されるエンジンとなる方々に指示をしと。
00:13:56	ということだったと思ってたんですけどやっぱり、
00:14:00	あれですかエンジン
00:14:01	で、
00:14:04	動かす。
00:14:06	で、エンジンが動く。

00:14:08	それを何とか、
00:14:10	手綱を、
00:14:12	阿藤井手。
00:14:13	関与して、
00:14:14	方向是正をしようというスタンスなん。
00:14:21	はい。有名石原でございます。はい。この部分の書き方ですね。すいません正直なところ申し上げますと、現状のこのチームの構成と、
00:14:31	ていう、いわゆる情報の情報量、
00:14:35	と、今進めようと思っているものを、関係性を思って、書いているところがあります。
00:14:42	やりたかったことは、ここにも普通っていう気はあんまり書いてないですけど、(2)も作っている実がの時に、私がやっているように、
00:14:55	どういうことをやんなきゃいけないのかどういうふうにして、どういう時間軸でやらないといけないのか、どういう方向性なのかっていうのは、
00:15:03	持っているのは本来はこの Steering 中で決めるということで、それに繋がってそれぞれのアイテムにどんなものを、どういう目的で作らなきゃいけないのか。
00:15:13	どういう情報を整理しなきゃいけないのかっていうことを、作業する部隊に渡して、これを作ってもらおうというところに、最終的にはというのが最終的な1段だっって話になります。
00:15:26	ていきたいと思って
00:15:28	ただ現状作りましたメンバーそろいました、じゃあスタートですって言っていないところができるかというところを若干ながら考えながら書いた結果学校だというふうに思っておるところで、
00:15:39	規制庁の長谷川ですけど、多分、
00:15:44	見えないのが、
00:15:46	今日我々が論点整理をした紙を、
00:15:50	もう明示的にさらしているわけなんだけど、その部分を Steering チームが押さえるんじゃないかなと。
00:16:01	特に等も、
00:16:04	局長の欄てペーパーの上半分のところの1個目のポツ。
00:16:10	こいつを Steering チームがちゃんとやると。

00:16:14	そのやった結果っていうのが当然チェックなり確認もするんで、その人たちは Steering チームは、基本的なラインの説明は、
00:16:26	全部できるはずでそれが結果として、しっかりできてることの、我々の確認にもなるんじゃないかと。
00:16:36	いうふうに思っているんですけど。
00:16:40	いかがですか。
00:16:44	うん。一応念のため一つ目のポツ言いますと、まあんか、ポイントだけ言いますが根拠ある実行可能な計画を策定と、その実施状況を各実施過程で確認。
00:16:58	フィードバックをかけるということです。
00:17:03	はい。上下一緒でございます。はい。そのペーパーを見させていただいて答えとしてはイエスっていう。
00:17:09	その部分が、
00:17:11	しっかりと宣言できるように、審査会合での説明も含めて、整理をさせていただければと。
00:17:21	はい。補足ですそこが大事なので、
00:17:25	今日のスペーパーだとそこが見えなかったですから、それをどういうふうの実態進めるのかを説明できるようにしていただければと思います。
00:17:35	それで
00:17:38	その上でちょっと具体に入りますけど3ポツの方の①②③というのを挙げられていますが、
00:17:45	アイテムとしてこれやんなきゃいけないってのはわかるんですけど、
00:17:50	この三つを進めるにあたり今言った実効ある計画を立て、意味、
00:17:58	やんなきゃいけない目的に即した対応をされると。
00:18:03	いうことを具現化していかない限り進まないということだと思うんですが、
00:18:11	その点で今回の Steering チームの体制の中で、
00:18:17	どう進める。
00:18:19	この三つをどう進めるつもりなのかって何かイメージありますか。
00:18:29	はい。二本木西浦でございます。規制庁の長谷川ですけど、これはやっぱり、
00:18:34	決得さんが説明すべき。
00:18:37	. なんじゃない。

00:18:47	ちょっと待ってください。
00:19:06	規制庁の長谷川ですけど、決得さんもまた同じことをです、してるんじゃないですか。
00:19:12	今日石原さんがずっと延々と説明してたけど、僕としては決得さんが、この説明すべてをやってもらいたい。
00:19:21	ぐらいです。
00:19:24	はい。
00:19:26	了解いたしました。
00:19:28	先ほどの論点のところのやつはヒアリングチームが、カバー、カバーというフォロー、確実にやっていく内容のアイテムだと認識とかそういう少し庄野長谷川ですから、フォローじゃなくて、
00:19:42	あなたたちが辞めるべきことの最も上流なことを書いているから、それを心をスルーわけじゃないと思います。
00:19:52	そこが根本的に違ってるんじゃないかと思うんだけど、
00:19:56	はい、言葉の選択誤りまして申し訳ございません。
00:19:59	我々はやるのが書いていただいていると思いますので少しその関係性が今日のペーパーに表れておりませんので、そこを修正して、もう一度お話を聞いていただきたいと思います。以上です。
00:20:18	うん。古作です。
00:20:21	なんですかね。
00:20:23	方向性よ。
00:20:25	整理をしてちゃん等を県、
00:20:29	チーム長たる決得さんが、加治を切るステアリングを握ると。
00:20:36	いうこと自体は今話をされたんだと思いますけど。
00:20:40	この3項目どういう意識で、どうやっていくつもりかって言うのは、あれですかまだ具体になってなくてこれからゆっくりやっていますってことですか。
00:20:59	ゆっくりやっていく、余裕はないという認識のもと立ち上げておりますけれども、
00:21:07	ヒアリングメンバーだけで今できる状態かというそういう状態にはなっていないというふうに、現状がございまして、早急に
00:21:14	キャッチアップしてこのコントロールできる、左チューブしたという認識がございまして。規制庁の長谷川ですけど、時間をゆっくりでいいです

	よ。要するに、できる体制をしっかりと作って皆さんがその Steering チームが十分に、
00:21:30	何か認識共有をして、やるべきことをちゃんと理解して、そして実行可能な計画を作ってもらえれば、それでちゃんと地に足を着いた、つけた仕事を、
00:21:43	してもらいたい。そして一つずつそれ活動の積み重ねが、結果となり、実績となって、次のステップの、
00:21:53	また計画の策定に反映をされるってそういうことだと思うんで、急ぐ必要がないというか、また急いだらまた同じ結果になるんですよ。
00:22:06	だから、急がなくて全然いいです。
00:22:09	古作です。私が言いたかったのは、私も同じなんですけど、
00:22:16	現状どのレベルにいて、どう進めるつもりかというだけなんです。今決得さんから、まだ
00:22:23	Steering に切れてる状態にないと、いうこと言われたので、であれば、握れた状態になったら連絡くださいねと。
00:22:31	ということなんです。①について、今日ヒアリングっていう形になってましたけど、握れてないんであればヒアリングするスタートできないので、
00:22:42	その点では
00:22:45	こちらからその記載が漏れているところとかそういうことの指摘はあろうかと思えますけど、ヒアリング
00:22:53	本来の意味でのヒアリングにはならないのかなと。
00:22:57	いうふうに思ってます。
00:23:01	Steering 握ったところで言うと、会合で5月にはとかっていうようなことを言われるような話をどう進めていくんだと。
00:23:11	ということになると思うので、そこら辺を握った段階でお話しいただければと。
00:23:16	ということです。
00:23:18	②の共通中については MOX の方で先行してということなのは別に構わないんですけど、これは結局、審査会合で話をしている 2-1、
00:23:31	の構造設計の説明ということであって、
00:23:35	その前段に 1 ポツのす、整理が進んでいるということが、
00:23:40	あります。

00:23:41	それが、
00:23:43	できてるものできてないものがあるって、次、本当の意味ですね、基本設計方針としては欠けてますとかっていうのではなくて、ちゃんとニノイチにつなげるだけの、
00:23:54	整理ができてるのかと。
00:23:56	いうことについてまだ十分じゃなかったというのがこれまでの
00:24:03	数ヶ月のヒアリング、審査会合での実績になっていると。
00:24:07	ということですから、それが整理できているものに対して、共通 12 としてこういうふうに整理をしていきますというのを仕上げるのはそれはそれでいいんですけど、
00:24:21	そうでないものはどうするかってというのが例示としては③の重大事故ということになるのかなと。
00:24:28	思ってます。
00:24:31	そうすると 1 ポツの方の整理を③でやれば、1 ポツ 2-1 となってそれが終わったら 2-2 の
00:24:42	方向性を決める作業に入っていくという。
00:24:46	考えていけばいいでしょうか。
00:24:54	乳井です。
00:24:56	どうぞ。
00:24:58	はい。
00:25:00	おっしゃっていただいている整理も、だと思ってます。
00:25:05	数十 2 でやろうとしてるのが 2-1、構造設計
00:25:11	は 1 ポツの整理ができてないといけない。③についてはその 1 ポツの定義の段階で止まっているところだと思ってます。そういうのをちゃんと連携、それぞれの前後関係だったり、ひもつき、
00:25:22	まずはしっかりと整理をし、どういう順番で、説明をして、最終的に行き着くところ、今どこですか 2、1 なんですが 2-1 なんて、
00:25:33	これを明確にして、
00:25:35	を示した上で、計画にしていけるということが必要だと思ってます。そういうのが近いと、先ほど決得が言った視点生きるがグリップし、
00:25:46	それを分解をして、こうあるべきというところを姿も書いた上で、計画に落としていくと、いうことだという認識でござい
00:25:56	はい。補足です。

00:25:59	少なくとも今日のこの紙ではそういったところの整理ができているようには思えなくて、目の前にある課題ということに飛びついているという感じがしたので、
00:26:11	よく何をやるべきかというところを整理をし、それをこなしていくんだってということがわかるように整理をいただきたいと思いますし、
00:26:22	Steering チームがその意識を持って計画を立て、作業される園児となる方々に展開をされるということをお願いをします。
00:26:33	そうするとですね最後のポツ溢水薬品についてはとありますけど、
00:26:39	これも上記項目が一定程度軌道に乗った時点という時点の話だけじゃなくて、
00:26:45	やるべきことが何かということが今の 1 ポツ 2-1 の中に、
00:26:49	おのずと入っているはずで、
00:26:52	だから展開できるということだと思うんですけど。
00:26:55	その意識が多分なくて書かれてるような気がするのでその点もしっかりと、これまでの溢水で話をしたことを踏まえてですね。
00:27:05	先行してやる、共通 12 の MOX だったり重大事故での整理と、
00:27:11	いう中で溢水に入ったらまた新たに考えなきゃいけないことが発生しましたと。
00:27:17	ということがないようによく Steering チームが検討いただきたいというふうに思います。よろしくをお願いします。
00:27:28	はい。人間一緒でございます。はい。
00:27:32	白田リーダー趣旨は理解をしました。はい。
00:27:36	おっしゃっていただいたように一番最後のポツも、何ていいでしょう。現状のステータス等を、あとタイミングの問題で気を意識して、
00:27:46	書いているのは、おっしゃっていた
00:27:48	とは言ったんちゃんと整理をしたいと思っているのは現状やってる行為が一体どこの説明を整理したくてやってるんだってところが実際あのさ、採用する勤務が、
00:28:01	理解できる、になってる感じもあったので一旦
00:28:05	整理をさせていただきたいというステージにも書かさせていただいてるとはいえ、どういうステップでどういうものをどういう順番でですね説明しなきゃいけないかという全体の骨格を、



00:28:16	しっかりと押さえた上で、あとリンケージですね、押さえた上で、ヒアリングして計画を示し、進めさせていただくということが必要だと思いますので、よろしく。
00:28:35	はい、規制庁の竹田です。
00:28:37	はい。衛藤。それでは、この資料につきまして日本原燃の方から振り返りをお願いいたします。
00:28:48	はい。二本木西原でございます。はい。後藤管理官からお話あった清境規制庁の長谷川です。これ決得さん、説明して、
00:29:01	コメントいただいた通りですね本日の CEO 会議の論点になっているところの上段の方、そこが Steering メンバーで実施できるように、
00:29:12	なことがわかるようなペーパーに少し直させていただきましてもう一度話を聞いていただく機会を設けたいと思っております。
00:29:20	それから古作さんから今の通りですね少し竜巻がその他のところの記載も出られないところがございますので、その辺も拡充した状態でヒアリング求めたいと思います。以上です。
00:29:36	規制庁の長谷川ですけど。
00:29:38	1 個目は簡単に言うとそういうことなんだけど、2 個目は何かちょっと違う気がするんだけど。
00:29:53	多分違う。
00:29:57	だけど、今後の進め方の今①とか②とか③とか、最後のポツとかこうあるんだけど、
00:30:05	これどうしようとしてるのかもちょっと臼田アウトプットイメージ、説明してください。
00:30:19	石原さんがはいわかりましたっていうのはアウトプットイメージができて、
00:30:24	いれば、わかりましたっていうことだと思うんですそういう会話にしましょうということだったと思うんだ約束がね。だからアウトプットイメージを示して、
00:30:37	はい。ちょっと私の今持ってる認識をちょっと間違ってたまた精査していただきたいんですけども、ここに書かれている地盤は要素として竜巻であるとか、逆に溢水につきましてもですね

00:30:52	もう少し課題の明確化をして、それ、それぞれのですね支部進め方についてもう少し所詳細というのが記載した上で、俎上に載せるようにするといった認識であります。以上です。
00:31:09	規制庁の長谷川です。石原さんは同じなの。
00:31:19	はい。宮城西尾でございます。はい。
00:31:22	同じですと言いたいところで終わる。
00:31:25	項目を今のトピックみたいに、
00:31:29	今、
00:31:30	全体的な枠組みとして今回設工認として、
00:31:34	もう、
00:31:35	縦軸に考え
00:31:36	て、
00:31:45	規制庁の須賀です。もう1人今村さん。
00:31:52	はい、今村です。私椎野を理解も、どっちかですね医師、石原よりなんですけども、そもそも藤。
00:32:04	どういう形で、全体をどういう形で説明していくかというところをまず明確にした上で、その全体の
00:32:14	進め方の中で、それぞれのアイテムが今どこのポジションにあるので、それに対してどういうことをやっていきますわということを、
00:32:25	ちゃんと自分らで認識いたした上で、すそ
00:32:30	スケジュールも含めた、進め方をこう考えていかないといけない。
00:32:34	いうそういう趣旨のご指導だったとに対してはありますが出ますでしょうか。
00:32:42	古作です。そうですね。
00:32:45	今村さんの言ったのが一番近いかなとは思いますが。
00:32:55	それぞれですね、
00:32:59	今村さんが言われた最初の全体のやるべき古藤の整理というのはもう、もう審査会合でやられていて、1、2-1、2-2という形で
00:33:13	まずは、設計方針の整理をし、説明をし、それを踏まえて構造設計、システム設計の説明をし、評価解析について説明をします。
00:33:26	有効性はあるので、その中に、今回、まず優先してやって軌道に乗せたいと言ったアイテムが、どの位置にあるのかということ整理をします。

00:33:39	いうこと。
00:33:40	です。認識をするって言った方がいいですかね。
00:33:43	で、その認識の中で、その1ポツなのか、2-1なのかといった位置付けの中、
00:33:54	その後のことも踏まえてやるべきことっていうのをちゃんと明確にして いってその後の展開につなげられるようにしてくださいと。
00:34:03	いう古藤です。
00:34:11	最初に決得さんが竜巻溢水とかって言われましたけどこれまではそういうやり方でやってましたが、今回共通12の中は、竜巻というのは先頭バッターじゃないので、
00:34:23	そこは何かやっぱりこんがらがってやしませんかという気がしました。
00:34:29	たので、そういったところも含め、整理をして
00:34:34	まずはその軌道に乗せるというための作業をどういうふうにしてやっていくのかということから、まずSteeringチームで整理をし、
00:34:44	ヒアリングのキックオフの時に話をしていただければと思います。以上です。
00:34:49	よろしいですかね。
00:34:54	いや、
00:35:01	あれ。
00:35:07	はい、了解いたしました。
00:35:10	あ、古作ですけどそれは先ほど管理官も言いましたけど、理解を本当にできたのかっていう意味で不安な回答だったんですけど、例えば①の地盤というのは
00:35:23	中ではどういう位置付けの作業になるんですか。
00:35:30	はい。①の地盤、すいませんちょっと資料をめくります。①の地盤はですね現在、1ポツの設計条件を決めるところに入っておりますのでその議論がまだ
00:35:41	始まってまだパラスタしかしていないといったような状況になっていると認識しております。今後この①のをどうするのかといったところがまだまだ議論が続くという認識ではおり、
00:35:57	規制庁の長谷川ですけど少なくとも地盤のこの話はまだまだ続くっていう、そんな言葉では何も解決しなくて、

00:36:08	その議論は、どういう議論をするためにこんなことは中元牛ないといけない要するに今回、なぜ、
00:36:18	モデルの設定でいろいろな今解析をやってるその解析結果から、どういうふうな展開で、こういうふうにするとか、何かそういう全体像、
00:36:30	を見極めて最終的には、建物とか機器が、の設計の妥当性えっていう世界に入るわけですよ。
00:36:41	だからそその一連の流れっていうのをどう組み立てていくんですかっていう、そうそういうことを具体的に、
00:36:51	計画していただかないといけない。
00:36:54	じゃないかと思ってるんだけど、
00:36:57	はい。
00:36:58	に分けてございますすみません、はしょりまして申し訳ございません。現在、パラスターをしておりますのでこのパラスタの結果を応答スペクトルへの影響ありないと。
00:37:09	見たところでどの因子が影響するのかを見極めて、その意識というのを深掘りが必要だと認識してます。inchの深掘りの中です、その設定方法で設定値であるとか、勉強した後、科学的にご説明した上で、
00:37:23	最終的に直下型の直下のスペクトルというのを決めて、それと平均との比較です、使える、使えないという議論に、の地盤の見解すいません古作です。
00:37:36	古作ですけど、
00:37:38	ちょっと
00:37:40	今の発言自体も、
00:37:43	作業プロセスとして認識がずれてるような気はするんですが、いずれにしても
00:37:50	何をやるべきかって言ったところを整理をして
00:37:54	スケジュールを組むなり作業を計画をするということが大事なので、それをまずちゃんと Steering チーム全体として、整理をして認識をしたところで話をしていただければと思います。
00:38:08	今日私が今
00:38:10	言ったのはですね、
00:38:14	管理官が言われたところを

00:38:18	言い方を変えてるだけなんですけど、最終的には2-23-2といったようなところで、解析評価下基準適合の説明をしていくと。
00:38:30	いうのに当たり、その上流として、どういう設計コンセプトだったり、評価方針として、
00:38:40	体系づけるのか。
00:38:42	いう時に、今現状原燃が申請してきている内容は、論理的に構築されていなかったりして、
00:38:52	妥当性が説明できていないということなので、それを構築をしてくださいと。
00:38:58	ということなんだと思ってます。なので、1ですっていうだけでは駄目で、2-2なり3-2なりといったところとの関連性を、
00:39:09	よく認識をして整理をしていただきたいと。
00:39:13	いうところですよそれで言うと、今パラスターっていうふうにだけ言いましたけど、パラスタの先に、応答スペクトルがあり、建物の耐震評価があり、機器の耐震評価があると。
00:39:26	あるわけで、それで全体を通じてどういうふうな位置付けになるのかといったところを説明できるようにしていただかないと、今後のヒアリングなり審査会合というのはうまく進まないんじゃないのかなというふうに思ってます。
00:39:42	はい。日本原燃決得でございます。申し訳ございません。私が今しゃべったら1ポツのやり方だけしかしゃべっておりませんのでですね、この後の1、13に繋がる場所も担当していかないといけない。
00:39:57	はい。古作です。
00:40:00	今日は、
00:40:02	石黒さん野本さんもいらっしゃるんですけど。
00:40:07	はい。関西電力。
00:40:09	こちらおります。
00:40:11	はい、蘇武です。わかりました。
00:40:15	余剰供与くう認識していただいてですね現状の課題とかを踏まえどういうふうに形作業を進めていったらいいのか、
00:40:25	論理を構築していったらいいのかというのを今後考えていただいて、議論して考えていただいて結構ですけど、

00:40:34	改めて提示をいただければというふうに思いますのでよろしくお願い致します。
00:40:41	はい。関西電力野元でございます。表記いたしましたと申し上げたいところなんです。
00:40:50	なかったので今、少し理解が追いつかないところあるので、もし佐塚なければここでお時間いただいてちょっとわからないところを、もちろんいいですよ。
00:41:02	もちろん、
00:41:03	その場でそういうだ。
00:41:06	すいません。ありがとうございます。今おっしゃっていただいたこの地盤の話でもそうだと。
00:41:12	高坂さんがおっしゃいます通り、その最終的な施設とのですね教育委員会との比較というところまで見通した作業と、いうことにはなっていくといいますかそれが目的ではあるわけなんですけれども、
00:41:27	現在そのですね入口の入力地震動を決めるための、この営みということで、我々やっていくというふうに認識してございます。
00:41:37	で、この入力地震の定めるための営み自体はですね、その5段の施設があるかは
00:41:47	とにかくもちろん最後には考えるんですけども、最初は科学的技術的にその地盤のアリオさらこれがあるべきじゃないかということ、まずできてそこから、
00:41:59	するんだよ国に来ておまして、
00:42:03	議論をスタートするのかなと、いうふうに思っておりました。ですのでそういうふうな議論の実ルールをおそらくしていけないのかなと。
00:42:14	いうふうに思って私ここに今日臨んでおります。
00:42:18	で、そういう形ですねやるとすると先ほどですね決得が申しました、その1ポツのところからという認識を私も実はしておまして、
00:42:29	そこの認識がちょっと合ってる合っていないのであれば、少しちょっと案に引き渡していただかないと今後うまくいかないのかなというふうに思いましたすいませんちょっとそこを私の認識不足、
00:42:42	ご教示いただけますと助かります。以上でございます。

00:42:45	古作です。もちろんヒアリングは1ポツからやりますけど、現時点において原燃においてはものも、
00:42:54	作っちゃっているし、
00:42:56	評価もしてある、申請もしているということなので全体像は把握できるはずで、それを踏まえて、どう、手当をしていくかと。
00:43:06	いうことを考えるだけの俎上はあるんだと思っています。
00:43:11	なので目的にこれから物を作んだ作るのであれば、1から順々にて全然構わないですけど、原燃ってそういう状況でしたっけっていうことでお話をしています。
00:43:23	後で来ルーのは原燃ではあるので、52 どうぞではあるんですけど、その点は、まず社内でよく考えていただければというふうに思い
00:43:34	ます。
00:43:38	はい。関西電力野元でございます。おっしゃる通り今物はできている状態といいますか最後まで権利としての評価というのができ上がってる状態でこの妥当性をご説明すると。
00:43:55	いう段階にあると、いうことは、我々認識してございます。
00:44:00	で、
00:44:01	時に、ですね今おっしゃってるのは、施設評価まで行き着くため御説明をとということではなくてそこ
00:44:10	を地盤のところのとにかく技術的な妥当積み上げるところを今おると思います。
00:44:16	一応ちゃんと認識。
00:44:21	規制庁の長谷川ですその認識は当然当たり前なだけけれども、いや、結局ね、今ね、我々はやっぱり最後の妥当性評価まで見通した中でやれってというのはあんまり変わらないんですけど。
00:44:33	ただ実際そこまでの過程が実はまだ見通せてないんですけどいう、わかっているけどそこまでの、例えばそこまでに、どのくらいの工程感で説明し終わるんだろうというのも我々との関係もあるし、
00:44:50	わからないと、いずれにしろこの入力地震動の策定はすべてのも当然インプットをの、
00:44:57	基礎になるわけだからまずはここをしっかりとやるっていうのは当然、ここをしっかりと説明なりしてもらうのに、自分たちの妥当性を、という、要は、

00:45:10	項目について、どう説明していくのか、ベースとしてそれに勝算はあるのか。
00:45:18	ていうところも含めて仮にこれがうまくいかなかった場合には、どういうところをちゃんと見ていかないといけないかもしれないとか、そういう、
00:45:29	ところでそういうことを積み上げていくと、どのくらいかかる、これは来月で全部説明し終わるんですか、再来月なんですかっていうところも、
00:45:40	結局そういうところの、
00:45:42	同計画だって説明してもらえますか。でもそこには当然我々との関係があるので、島だから、
00:45:52	論点を明確にしましょう。これ論点実は明確になっている。
00:45:58	ルールは分けてすでにね、そこところを今回例えばこの後あるのかもしれないですけど、
00:46:05	自分たちが今まで追加的な解析系をやってきた中で、どう、これ勝算があるのかとか、自分たちの説明ロジックというふうに、
00:46:15	ちゃんと下支えをできそうなのか、そうでないのかっていう見極めも含めて、それを皆さんが Steering チームがやるんじゃないんですか。
00:46:30	はい。関西連合の方でございまくおっしゃる通りです。
00:46:34	日本原燃としての御説明のロジックがちゃんと議論に耐えうるものであるか妥当であるかという観点で、我々がちゃんと
00:46:46	規制庁さんに教え、
00:46:49	ということなんだろうというふうには思っております。
00:46:52	それがどんな段取りで説明できそうですかっていうのを、こちらから仮にお尋ねをしたときに、こんな計画ですってしゃべるのが、皆さんのまず、
00:47:04	少なくとも本当の入口んところはまずそんなことだと思いますよ。
00:47:10	これ他も実はですみんな共通してるんだけど、
00:47:15	他のところでも、ある施設というものは、系統の設計条件全部説明してくださいって、
00:47:24	というのが多分最初の入口なんだよね。そこの入口の一部、基本方針だけはできて、



00:47:30	ただし具体的な個別具体的な設備の、それを踏まえた所、詳細な設計条件なり設計仕様なりっていうものを、
00:47:41	ちゃんと説明してくださいって、それは、どのぐらいで整理が可能で説明できるんですかって言うだけで、当然その後にはそういったその仕様が、
00:47:52	になってますとかさ、こういう構造設計になぜなったのかっていうのも、条件との関係で、1個1個説明すればいいだけでそういう関係なんじゃないですか。
00:48:05	常に多分一緒なんですよ。
00:48:08	だいたい理解が進んできましたか。
00:48:13	関西電力野末でございますありがとうございます。こういうことかなというふうには理解したんですけども、今回であれば、4インチのパラメータ2人の結果っていうのをご提示はしてるわけですけども、
00:48:26	こうやってご提示しているものが、今長谷川さんがおっしゃった設計費用としての仕上がりとしての入力
00:48:35	に、どういうふうに、その検討をもとに、我々が
00:48:41	妥当性を説明しようとしてるのかと、いうことのマッピングと一緒に、やっぱり説明を上げてそれがどういう、
00:48:50	我々、説明し、
00:48:52	製造を示す、
00:48:54	何を知らせるといふ。
00:49:00	古作です。
00:49:02	後半、
00:49:04	長谷川管理官が言われたのは①の話というよりは丸2の話がメインです。その中に丸さんの話も入ってたんですけど、
00:49:15	②③も結局は①で言った、当然耐震評価の前提になるからといって優先でやっていたわけで、当然①の中にも関連はしてくると。
00:49:26	ということなんですけど、考えることっていうのは上流の設計ロジックがあり、それを踏まえてものづくり、
00:49:36	に繋がるために、その方針を具体的に展開しなきゃいけないといったところの中で①の話であれば、地盤物性をどう入れるべきかだったり、

00:49:47	どういふに区分けをしながらやっていくべきかったりということに詳細化をしていくと、その都度都度で妥当性を説明するということだと思ふ。
00:50:02	関西電力の郷でございます。少し理解が深まった気が自分ではしております。
00:50:11	として、施設設計に最後どういふに展開するかと、いうことを念頭に置いた方聞いてこれは決められているものであるということ、
00:50:24	認識した上で、この入力地震の決め方というのをどうやってやるんだというのを、下に本件で締めてということをやっているということ。
00:50:36	規制庁の長谷川です。野本さんはかなり難しく考えてるんですけども、僕ら言ってるのは実はすごい簡単で多分毛利理解はできてるんですよ。
00:50:47	当然、
00:50:49	入力地震動の話すれば、基準地震動があつて、施設を個別に設計するためには、各々の入力地震動が必要だよねっていうのがわかっていて、その入力地震動をモデルつくって解析して
00:51:05	丸でねバツだよねっていう話をする流れはもうみんなわかっていると、その中で、今原燃ができていないのは、入力地震動の妥当性については、
00:51:17	既認可と同じモデルでありました。以上の根拠がないんですよ。
00:51:25	で、その根拠を、しっかり科学的技術的な話として、下支えとなる根拠データを含めて説明してくださいねって我々言っているだけ。
00:51:41	さらに言うと、同じように MOX 施設でもそれをやったときに、みずからは持ってきたものは耐えられなくなって、
00:51:52	変更をし、余儀なくされました。
00:51:57	よって、再処理施設についても同様の論点が立ち上がってるだけだから、根拠根拠が乏しく持ってきたわけですよ。
00:52:11	既認可通りです。それ以上の説明が一切できていないところに問題がある。
00:52:17	で、まずこれを解決してくださいねって言うだけ。
00:52:22	他の、まず、ここは地盤の話ね。他のものなつて、なんか皆さん作る時に、ものづくりをするときに、ある条件があるじゃないですか。

00:52:34	ね。自分の家を建てる時でも、50坪の敷地に4LDKで、何らか建ててくださいっていろんな条件があって、キッチンはどうしてくださいフローリングはこれでいい。
00:52:47	壁紙役をしてみるとかいう、何か条件があるじゃないですか。
00:52:51	そしてその条件をきちっと自分たちで決めて、
00:52:56	ね、それだったら例えば地震にもつよようにして、書いてあったりなんかするわけでしょ。
00:53:04	それをちゃんと検証してくれればいだけじゃないですか。
00:53:08	その条件が、実は皆さんは、メーカーにもお願いしただけだから、自分たちで何注文したかもよくわかってないわけですよ。それをちゃんと明らかにしてもらえれば、
00:53:21	構わないと。
00:53:23	いうだけなんですごい至って実は言ってることシンプルなんで、何か難しくとらえなくていいですよ。
00:53:30	だから原燃はそれをそのぐらいの説明はできないレベルにいるっていうことをまず認識してくださいねって言ってるのかな皆さんには、
00:53:45	加瀬久野でございます。ありがとうございます。日本原燃土肥での、このこれに限らず設定のですね妥当性といいますか、技術的今
00:53:57	様をこういう形でお示しますと、いうところをちゃんと整備して、そのうちの表をご説明するのはこれであると。
00:54:09	ということがわかるように、しかもご説明する内容というのは我々が妥当だと言ってるのはなぜそれが妥当だと言ってるのであるかということちゃんとみんな裏付ける形で説明しなさいと。
00:54:22	いうふうにおっしゃってるんだというふうには、行きましたけれども、そういうようなそういうことです。はい。
00:54:31	はい、古作です。すいません。ありがとうございます
00:54:35	はい。古作ですありがとうございますこういう議論が大事なので
00:54:40	比木今後ですねヒアリングやる時にも躊躇することなく、いろいろと聞いていただければと思います。
00:54:50	これだけで終わりますけど、①はそういったところ技術的根拠なりを積み上げながら、その妥当性というのを説明をする、取っかかり。
00:55:01	なんだろうと思っています。一方で③については、同じ1ポツなんですけど、

00:55:09	技術的本拠云々というよりは、許可で行った設計方針、
00:55:13	具体的に展開をしていくというところの論理構成の整理という形なので、そんなに、さらに言うとはんと難しくないんですけど、許可でやってあったはずなんですけど、
00:55:27	何故か許可でやったことが具現化できていないという状況にあって困ってるっていうのがこちらの状況なので、整理をしていただければというところですよ。
00:55:39	そういったところで同じ1ポツでありながら意味合いが全然違うということで並んでいることには構わないんですけど、その点意識をしてやっていただければと思う。
00:55:51	以上です。
00:55:59	はい、二本木西平でございます。最後のゆとりは、
00:56:03	はい。今最後
00:56:04	も、認識しておりますので、はい。今後、整理をしてお示しをしたり図面としてお示しができるように、
00:56:13	いきたいと思えます。以上です。
00:56:18	規制庁出せまあなかなか言ってる何かこれだけで終わりそうにないから、まず現物、とりあえずこれはこれでただしっかりやって、結果としてちゃんと、もうちょっと次は、
00:56:30	建設的な会話ができれば、よしとしようかというところで、いずれにしろ立ち上がったばかりなんで、まずは実情をきちっと把握して、
00:56:41	計画的にできるようにしてくださいねっていうことだけを言っておきます。よければ2番目の、
00:56:49	伊田行きますか。はい。
00:56:54	はい。伊勢町の竹田です。それでは次の議題としまして審査会合 Co 案ですね。
00:57:01	4月12日受理している資料、こちらは12事業。
00:57:08	受理はしておりますので、ポイントについて説明をお願いいたします。ごめんなさい、古作ですポイントを説明するほどの資料じゃないので、全然説明は要らない。
00:57:18	ですけど、何かありますか。
00:57:21	規制庁の長谷川ですけど私が説明してもらいたいのは、この欠カートして、原燃として、

00:57:29	の、
00:57:31	見解というか、何て言うのかな、見立て。
00:57:36	て言った方がいいのかな現状での見立て的には、どう、
00:57:41	感じてます。
00:57:46	赤瀬電力の方でございます本件 Steering ひもとして関与させていただくことになりましたよろしくお願ひいたします。
00:57:54	すいませんと施設これはいらぬ
00:57:57	と言って、
00:57:59	いただきたいんですけども、えっとですね、審査会
00:58:03	17 ページに値がところで、外地盤部分の地盤同定、設定に関する感動の比較データがございますけれどもそこにですね、
00:58:13	エゼクター程度基準だけやの、二つのところちょっとデータが抜けております。
00:58:19	こちらの堰外でして、これひねる形で、後程訂正させていただきたいと思ひますのですみませんより、
00:58:25	ちょっと
00:58:26	いただきたい
00:58:29	ところでございます。
00:58:31	ちょっと A4 の建物給与、
00:58:36	今言ってもこちらにつきましても等を追記をさっきいただく。
00:58:42	今ね、建物では、
00:58:44	でも 08 についても、
00:58:46	月かけていただこうというふうには考えてございます。
00:58:50	先ほどの一昨日のこのデータどう見てるかというところなんですけれども、
00:58:58	我々1度、お答えするような分析ができている状態ではないといひますか分析かどうかお答えする院長の長谷川ですけれども。
00:59:10	縦でいいです。
00:59:13	なぜ、
00:59:15	中根忠規制庁の長谷川ですけど、正しい考察とかそういうんではなくて、ぱっと見の見立て的にどう感じてますかぐらいで、
00:59:27	いいんじゃないか。そうしないとなかなか議論進められないんじゃないかなと思ってるんですけど。

00:59:33	パ組建てで申し上げますと、まず岩盤の非線形性についてはこちらは直下と平均で、
00:59:43	ほぼへ変化がないという見立てができるかなという印象を我々は持っております。
00:59:50	に関しましては、場所場所によって少しばらつくようなデータが出るようなものもあたりなんかもありますので、それちょっとよくですね、管理できないかなという印象を、
01:00:03	今日本原燃側では持っているところでございます。
01:00:07	以上でございます。
01:00:11	規制庁の長谷川ですけど我々の細かく1個1個分析はしてないんだけど、やっぱりちょっと見立てが違っているところがあってそれを、
01:00:25	申しますと、最初の部分、
01:00:28	については、
01:00:32	かなりの部分で、平均と直下っていうのは、一致を示しているとは思いつつ、もうそれは実は、
01:00:45	平均で使ったところのデータが多いところなんだろう。
01:00:50	なので、よくよく見ると、データが直下のデータが少ないところをの場所分については、やっぱりその返りが、
01:01:01	よく一致しているところとは、違っているところがやっぱりあると。
01:01:08	うん。ていうふうに見立てていて必ずしもすべてがそうではないということから、やっぱり少し
01:01:20	データが足りてないところっていうのは少し、これがばらつきなのか、特有、
01:01:27	量的なものなのかよくわからないけれども、違っているんじゃないかなというふうに、
01:01:35	そこそこまでの見立てになってますけど。
01:01:39	そこが、我々の論点の一つになりそうなんですかね。他は、やっぱり場所場所でいろいろ、下水は大体2、何て言うのかな。
01:01:51	当たり前のように全体聞いてくるんで特に短周期側の方が比較的割とわかりやすく出てくるっていう。
01:01:58	そんなイメージなんだけれども、
01:02:02	ちょっと兵庫全体の最初の部分は少し違っているように思いますが、
01:02:08	これは論点になるんですかね。

01:02:14	高い電気の方でございます。お聞きいただいた通りですね減衰は当然のように、下水が小さい方が、最終機側ってというのはこれはもうものすごく綺麗な形で出てるというのは我々も同じ感覚を持っております。
01:02:29	岩盤物性につきましては、これ、おっしゃる通りちょっと場所として、その相違が出るところがやっぱ出てるというのは同じ認識でございますのでそういう意味では
01:02:42	同じ検証を規制庁さんも、答えてるんだなという受けとめを突き合わせております。
01:02:53	はい。まずそういう意味で、規制庁の長谷川ですけども、我々の全体としての見立てとそう大きくは変わらないと。
01:03:02	このまず大きな論点ってというのは、それでも平均地盤みたいな平均値を優先してやるべきなのか。
01:03:14	それともやっぱり MOX でやったように、超過、ないしはその周辺のデータをもとに、
01:03:24	構築していく。
01:03:27	のがいいのかっていうところについて、
01:03:34	原燃は、そこの妥当性を説明する必要があると。
01:03:39	いうふうに思ってますけれども、
01:03:44	そういうまず感覚でいいですか。
01:03:48	はい。関西電力濃度なります。はい。同じ応力によくギャップを持っております。おっしゃる通り、
01:03:59	設定のですね妥当性を、この比較元にですね説明していかなくちゃいけないと、いうことを認識でございましてそれで我々ですねその説明の準備をちょっと進めてるところで、
01:04:15	ちょっと懸念があっても費、補足あれば、あります。
01:04:19	いいですか。はい。以上でございます。
01:04:21	はい。
01:04:22	規制庁の長谷川ですけどそうするとね、
01:04:26	我々のさっきの最初の見立ててどう、今話をくっつけていくと、やっぱり市は、
01:04:36	直下ないしはってというような印象を受けてるんで、今後説明する時には原燃がそれと一致してれば、
01:04:47	論点にはならないし、

01:04:50	そうでなければ、そういったところが論点になってきますと、
01:04:55	いう、そんなイメージなんじゃないかなと思ってますんで、それを踏まえた形で、
01:05:05	説明なり考察をよく考えると、
01:05:09	ということかなと思います。
01:05:14	ただ、どうぞ。
01:05:20	はい。
01:05:22	4、
01:05:23	3 ぐらいの話、それはさについてね。
01:05:28	古作です。大枠はいいんですけど、先ほど言われた表層のやつ。
01:05:36	PR、やります。すいませんじゃそれを、
01:05:42	1 個ずつ。はい。規制庁の長谷川ですけど。次に、特にね、三田監事 2 割と、
01:05:53	顕著に差があるのではないかなあという、表層の布施なんですけども、
01:06:04	特にこれ場所場所でいろいろ変化が大きいので、
01:06:10	もう少しやっぱりちゃんと見ていかないといけないという印象ですけども。
01:06:15	いかがです。
01:06:29	赤瀬と久野でございます。投票層について設定通りパテに寄って結構ばらついてくるというのは見えてございまして、
01:06:41	表面から 1 回ですか。
01:06:46	はい。日本連盟の加瀬でございます。今の長谷川さんおっしゃった、
01:06:51	表層についてはおっしゃる通り、場所によってばらつきが出ると。
01:06:57	そういったところの影響という影響の対象というのは先ほど長谷川さんおっしゃったようなデータのそのグループによっては少なかったりとかそういうようなところもありまして、いわゆるばらつきとしてへのそういったところの位置付けみたいな、
01:07:16	の方、
01:07:16	必要があるというもの。
01:07:17	我々の認識でございますのでその辺 Steering チームさんの方と、2 次連携とりまして、市決定をした上でですね、



01:07:30	規制庁の長谷川ですけどとりあえずそれはそれとして、ここには、さっき言ったこのデータっていう、物理量の部分で、
01:07:45	皆さんが申請してきたデータっていうのは、実は
01:07:52	今解析してるデータと多分ターの数も異なっているんでそういったところの使ったデータっていうのを、
01:08:02	等の量っていうか、そういう新旧みたいなのも、ちゃんと
01:08:08	考察もしないといけないと思ってます。それと、それはそれで当たり前のことなんで、やっていただく必要があると思ってますし、
01:08:19	あとは今回、特に今のところを、この中ではやってないんですけど、
01:08:28	許可との関係の中では、岩盤部分についても、表層部分についても、深度依存性深さ依存性が、
01:08:40	あるのではないかとということで、この合間影響評価については、特段、
01:08:49	現状では、とされていないんですけど、
01:08:53	この辺りについて、
01:08:57	その今後の考え方みたいなのを、
01:09:00	少しお聞かせ願います。
01:09:06	でございます。まず最初におっしゃってありました死んでいたでた。
01:09:13	そっか定着慎重の、
01:09:16	残ってるの。
01:09:22	これの認識を申し上げたいんですけども、衛藤、小滝輝久さんの資料の一番末尾の、
01:09:37	すごく辛いんですよ。やっぱ、
01:09:41	もう、我々てる程度。
01:09:45	これが、
01:09:48	これがあって、ですねこの引間細野先生、沖田柚木
01:09:54	吉良の方が、もともと一番最初の設定の時にとったデータデータでありまして、そうなるとう青本と緑ポツと言うのを、そこへ形でこういう分析を入れると。
01:10:08	いうところで、
01:10:09	ですけども、我々実の議論はこの3、端緒から、そのもとに、議論させていただこうというふうに考えておりまして、新旧っておっしゃってるのがどれが品でどれだけ

01:10:24	やってるのがちょっと私だけかもしれませんが、ちょっと今ひとつ判然と、
01:10:30	ご協議いただければというところでございます。
01:10:34	でございます。
01:10:35	二つ目の、どう、
01:10:38	炉心の依存の影響がということで、とおっしゃっていただいたところでございますけども、こちらですね私こちらで
01:10:49	日本原燃と2、091してもらって、確認
01:10:55	なんですけども、どうも私と原燃の間で話がかみ合わなくてですね、何かかみ合わないかと言いますと、このしんどい。
01:11:06	ては、やってるんであるという説明を私聞いておまして、誰に聞いてもそういうのでしょ
01:11:14	ね。
01:11:15	等を認識
01:11:18	けど、認識をちょっと上げていただく必要があるのかなと、いうふうには思っております。すいませんちょっと非常に直接的な言い方しまして申し訳ありませんけれども、
01:11:30	ね、今
01:11:32	平賀に、
01:11:34	私が聞いておりますのは、表、
01:11:39	もう PF 検層の D たを元に、
01:11:44	複数あればそれを平均化した簡単に聞いて、深さ依存のデータを使っているという。
01:11:54	孤島のようにございます。で、等というのでですね、主なきかせる間接基盤こそ私が追っかけてしまってる。
01:12:05	さっきもいたしますし、
01:12:07	認識はさせていただきたいというのが私時間のお願いでございますのでお願い申し上げ、
01:12:14	大坪田この2点でございます。
01:12:17	まず、データの話は、現状を出してる皆さんのいわゆる入力地震動の策定、要は申請している。

01:12:28	入力地震動に使った時の地盤データのデータは、その測だけなんです が、何か青とか、そういうのを全部入れて、再度平均化したものなんです かっていう質問をすれば、
01:12:44	多分いいと。今やっている解析、追加の解析っていうのはすべてのデー タを多分使ってるんであろう。
01:12:53	いうふうに、認識はしてるんで、
01:12:59	いうただそれだけです。ただこれこれいうのはなぜかっていうと、
01:13:05	もし仮にって、現状の申請されている、入力地震動の策定に用いた地盤 モデルにかかるデータが、
01:13:16	古いデータというか、
01:13:19	青とか緑を使ってないんであれば、
01:13:24	通常は新しい、要は、そういうデータもちゃんと加味して使うべきだっ ていうふうに思っているところ、その使わなくてもいい。
01:13:36	使わなかった合理的説明を、が必要になってきますねという、そういう ところに繋がる。
01:13:45	それよろしいですか。
01:13:47	理解。
01:13:50	できました。
01:13:51	金の部分。
01:13:57	実際にだけ引いている、モデル自体はで設置したモデルが平均今モデル の元になってる。
01:14:07	緑や青が出された時にどうなるのかということの
01:14:12	今、
01:14:13	こちらは、
01:14:14	必要だと、いうことはおっしゃる通りだというふうに思い
01:14:17	そういう認識です。
01:14:21	それは最終的にへ、
01:14:24	出る
01:14:25	が、の妥当性がの証明とあわせてや、やればいいと思っていますので、 それはそれだと、もう1個が、
01:14:36	何だっけし深さ依存性なんですけれども、今回は、特化再依存性要する 深さによって、データセットが実は要は、

01:14:48	パラメーターにばらつきはあるんだけど、そいつを全部足して平均地盤として、要は深さに対して、全部平均化したものでやっていますというのが今現状だと思います。
01:15:04	なので、深さ依存性を適切に考慮するイコール、深さごとに、パラメーターをセットし、したら、
01:15:16	ていうそういうものに対しては、いかがお考えですかという、
01:15:21	許可の中では、この場所場所にも多分データの個数問題もあるんだけど、場所場所で多少の傾きがあるものと、
01:15:32	ないものとかもどうもあるようなのでその辺の考え方についてお聞かせ願いたい。そう言った趣旨です。
01:15:45	浅井瑛乃でございます。ありがとうございます。
01:15:52	であるバックー改造
01:15:54	で、
01:15:55	下であれば、
01:15:57	でも、これ、
01:16:01	すいません、ちょっと日本原燃の
01:16:03	ご認識をちょっと話。
01:16:07	無理くりでちょっとだけ言っていきますと、
01:16:11	仮に、
01:16:13	深さ方向に依存性を考慮してこの解析がされていた場合に、例えば表層とかの、何か土地代ってというのは、
01:16:23	何メートル地点でのデータっていうことになるんで、
01:16:29	みたいに、そうはならないとちょっとあれなんだけど、いずれにしろ、深さに対して、パラメーター変えたか、全部平均したかっていう、そういう、
01:16:42	話で確認してください。
01:16:45	ちょっともう勘違いしてたところがありました。
01:17:05	表層地盤に平均物性を設定
01:17:08	代表性
01:17:16	はい。しているところでございますけれども、この中で、この直下物性を設定しているところというところは長谷川さんが先ほどおっしゃってありました、まっすぐのボーリングを平均しているだけだから付加作用なしというふうになっておりますが、

01:17:28	いわゆる平均物性を設定している方の黒い線、
01:17:33	ましては、こちらにつきましては、長谷川さんが先ほどご認識されているようなところでしたが、各、そのあと、埋め戻し度というところのボーリング調査結果、これを平均化したところ、その負荷、
01:17:46	やはりそういった統計的なところの位置付け
01:17:50	そのあたりとして、7年経過を持つような、深さ依存性を考慮しているものというふうになって、
01:17:56	意味でこちらの解析っていうところが感度分析という
01:17:59	今現在使った議論のありとなし。
01:18:04	で、また、この出荷制限ありという
01:18:08	まして私が実際の許可の方で1回お示ししております許可で不足しているというかそう示している物性値これと整合的な設定というふうな
01:18:19	いや事実関係までちょっとまず、
01:18:24	規制庁の長谷川ですけど、これ表層の話で、岩盤の方は、
01:18:42	は、はい。
01:18:45	菅田嶋でございます。
01:18:58	はい、日本原燃土橋でございます。事実までを、
01:19:03	としては、今は深さ依存性というところは見えていないというところ、いわゆる田井側側のPS検層をそのまま使うしかにそのグループ内のPS検層を平均化する。
01:19:13	ファイルを見ていないというのが、今の実情で、
01:19:18	なので、湯川瀬川です。なので、すいません。
01:19:25	当貸設計のものでございますが、ちょっとよろしいでしょうか。はい。
01:19:30	今加瀬の方から大橋さんの方からですね、深さ方向依存を見てないという
01:19:36	ますけど、
01:19:38	実際にですね。
01:19:40	PA建屋にも、の時もそうですし平均地盤の時にもそうなんですけども、5校なり、実際PA建屋の場合には5校ですけども、
01:19:50	それで速度構造がですね、幾つ幾らかへん。
01:19:55	その速度構造が変化した。
01:19:58	ついて、一番最適などといいますかその変化点が終わりたちスムーズに変わるような

01:20:06	速度の構造を可変化させます。そういう意味ではですね、ここで7070メーター
01:20:17	それについてはですね、離散的にと言いますから、
01:20:22	ええな
01:20:24	的に、速度構造を変えて、
01:20:28	西東中央部の平均地盤もですね、全く同じやり方、逆に言うと、ピーエイの方がですね全く同じやり方で速度構造を出して、
01:20:37	そして、深さ
01:20:38	というのを見てないという言い方はちょっとですね。
01:20:42	境界をもちまして、深さ方向に速度を変えているというのが事実でございまして、それにつきましては、MOX 建屋の方と、実際の維持費が平均の2 東中央で、同じような設定をしているというふうに、
01:20:57	私の方は本当に
01:20:59	いかがでしょうか。
01:21:02	大体話はわかりました。今の話で、なので、その辺の設定のつなげ方とかのそういう辺りの今後、
01:21:14	ご説明をいただく必要はあるんだろうと。
01:21:18	だから、
01:21:20	我々が思った、割とちょっと違った形での考慮は、してるんだなあということはわかりましたんでは、その辺りをもう少し、
01:21:30	きちっと説明していただければいいのかなと思いましたが、ここは和崎さんいかがです。
01:21:38	はい。規制庁浜崎です。今の宇野さんの説明、前からっていうか、もともと理解してたんですけども
01:21:46	東翼、
01:21:48	ガイドラインのような形でですね地盤で SAFER のモデルだとかとの整合性、そういう観点もありますので、あちら多分深さ依存を考慮した二次元の平面で、
01:22:00	解析してますんでですね、そういうモデル化をしているというふうに理解してるんですけども今回、仕事解析の地盤モデルとしては、今、ある意味スライス主張をですね、

01:22:13	細かくといたしますか、深さ依存を考慮できるようなモデル化をし、して設定しているということで支持乾パン部分については理解しましたし、気がしてました。
01:22:25	表層に関してについては、
01:22:30	今直下の場合ですね、平均に関しては、葛西さんを考慮しているっていうのはこれは
01:22:36	炉心成人から変わってないんですけれども、表層に関して、直下のモデルの深さ依存というのは、1市立です平均ですっていう話が先ほど笹からあったんですけれども、
01:22:49	その件に関して、表層の葛西層に関して、今後考慮される予定でしょうか。
01:22:57	はい。日本原燃の加瀬でございますすみません私の先ほどの岩盤の言い方がちょっと誤ってしまう。
01:23:04	もう小口さんじゃなくて宇野さん教えてください。
01:23:10	はい。当然設計の
01:23:14	実際にはですね、
01:23:18	来ますが、
01:23:20	ましてはですね、造成モードと、
01:23:25	榎田といたしますかですね、実際には品、
01:23:27	CB 建屋が、
01:23:30	特殊な特殊な建屋の周辺に出て、
01:23:36	それについては直下ボーリングと同様に as-is でやるということで、そのの平均値を取るということになりました。ただこれもですね実際に事業許可には申請書ではですね、
01:23:48	深さ方向依存を設定しております、それも実際の地盤定性評価の方で使わせてください
01:23:56	てね、今度梅野
01:24:00	もう、実際この梅本
01:24:02	根井。
01:24:03	浜崎さんにも、広井さんにもいろいろと御説
01:24:07	求め
01:24:08	ファイリングをしてですね、密度調整もしてますし、粒度調整もしてますし、技術材料であるということであるとですね、固化材

01:24:17	ですから、基本的にはですね高速ハツイゾンを持つわけですね、高速ハツイゾンを持つということは、基本的に物理的には深度依存を持つというのが、
01:24:29	今は、
01:24:33	埋め戻し量については、深さ方向依存を入れなければいけない
01:24:39	それを設
01:24:40	ですね、今ちょっとですね。
01:24:44	実際平均で赤色ですね、深さ方向依存で与えるのとどっちがいいのかということですね、ちょっと検討しております。またですね、平均の問題につきましてはですね、
01:24:55	いろいろな解析表を使いまして、その辺のところですね、上手にですね、ご説明できるようなこと。
01:25:02	以上。
01:25:02	那須。
01:25:03	はい。規制庁浜崎です。今村さん言われたことって、こちら自身にある程度理解してまして、PA に関しては、基本的に表層の部分六ヶ所と、これ深田ビジョンが基本的な、
01:25:17	ほとんどないということで、深さ依存費に関しては、表層見てませんよというので
01:25:25	は、我々理解してます。ところが梅野部分に関しては、これ許可の資料からも、火災増が見られるということで、火災損工業、
01:25:35	考え、十分考えられますと、ただ今回の資料の 16 ページ目以降も、競争の他のメーターとした結果、これに関しては今葛西さん、池稲井。
01:25:45	競争のパラメーター、競争の条件ですよね。だから、この 16 メーター、16 ページ以降の資料について、深沢リサーチャ、稲井そうですね。
01:25:57	ただこの規定、その後、今後どうされますかというのがこちらの質問です。先ほど長谷川管理官が言ったのは、その趣旨の質問です。はい、東電設計の野辺でございます。
01:26:07	物性の根拠を示した上で、深さ方向依存の平均値を基本的には使っていきたいというふうに、
01:26:15	以上です。
01:26:17	はい。規制庁箱崎ですわかりました。今後そういったヒット説明が拡充されてくると。



01:26:24	いうふうに理解しておけばいいという、
01:26:26	を飛ばして、
01:26:29	当然設計の能力。
01:26:31	ような費用をそろえてですね、ご説明させていただきたいと思います。
01:26:36	はい。規制庁山崎です。これも一つの論点と考えていますのでよろしく お願いします。
01:26:41	浜崎からは以上になります
01:26:43	はい。規制庁の長谷川ですけど、堂本さん、大体、
01:26:48	概ね理解はされましたでしょうか。
01:26:55	他電力の方でございます。えーとですね、正直申し上げまして、最後の ところ、
01:27:00	できないところが私まずいと
01:27:13	はい。
01:27:15	宇野さんの説明とかをよくご理解いただいた上で、多分 24 日の審査会 合では、この辺りも、
01:27:25	少しですね議論できればというふうには思ってますけどそちらの準備理 解状況次第とは思いますが、そんな感じで
01:27:37	ここも論点の我々一つであって、必要であれば、解析とかの拡充も必要 なんじゃないかなというふうに思っている点です。
01:27:52	はい、承知いたしました。ありがとうございます。
01:27:56	で、大体次に 0 としては最後なんか言うで、こんな話をしていくと。
01:28:05	そもそも現地、少なくとも現状の
01:28:10	申請された基準地震動に、いわゆるじゃなくて入力地震動については、 やっぱり場所場所だから、
01:28:20	すべてではないかもしれないけど、いくつかの場所では最低限、
01:28:28	表層の地盤とかそういったものも含めて、
01:28:33	入力地震動のも皆おしいが必要なところも出てくるのではないかと思っ ていますけれども、その辺の感覚みたいなのを少し、
01:28:46	お聞かせ願えればと思います。
01:28:52	阿部工藤でございます。今おっしゃっていただいたような
01:28:57	入力時の見直しという
01:29:04	日本原燃

01:29:16	規制庁の長谷川です話としてはかなり大きなあれなんで、ただしやっぱりこういう議論の中では、最終的に行き着くところは多分その議論だと思ってますんで、この先ですね追加の
01:29:31	解析なんかも必要だったらやってもらって、しっかり
01:29:37	なんていうんですか、考察をして、その部分について根拠ある説明というのが、まずはですね入力地震動の策定の中の
01:29:50	大きな部分、山であると。
01:29:53	いうふうに思いますので、これは別に、早くしろなんてのは決して言わないので、しっかりですね、根拠を、を根拠づけた、適切なロジックで、妥当性なり、
01:30:07	修正があれば修正っていうのを今後説明をしていただきたいと思います。
01:30:22	はい。
01:30:25	ちょっと、5月私の方は大筋では大体終わりましたんで後、資料の何か見せ方というか、表現の仕方でちょっともうちょっとわかりやすくしてもらいたいとかあと、個別の細かい点で、
01:30:39	担当の方から、いくつかあると思います。
01:30:48	大体、岡崎です。内藤人見瀬古。
01:30:54	黒瀬湯田君。
01:30:57	はい。
01:30:59	エリアごとに、
01:31:01	私だったら東でまとめていただきます。
01:31:08	資料の掲載の話の前にですね15ページ先ほど冒頭の堀田さんから言われた善処等44に関しては、別途入れます。
01:31:19	いろいろ入れますっていう、これ、まずその理解で。
01:31:24	さっき関西電力の方でございます。はい。その通りでございます。
01:31:30	これ、先ほど多分古作調査官io
01:31:34	言おうとされた話だと思うんですけども、ZとかG14で、解析モデル事業とか式モデル上は、いわゆる衝動性モデルといいますか、基礎から上の浅い地盤、表層地盤はないモデルになってますよね。
01:31:50	ですからここは表層考慮しないっていうことで、スペクトルがないものというふうに理解してたんですが、まずその、どういうスペクトルが、ここは記載されるんでしょうか。

01:32:03	反対電力のことです。我々も実は最初ちょっとそういうふうな認識を持ちつつですねここ設計業考慮しないということで、データを期待はしていなかったところではあるんですけども、このデータの意味合いといいますか目的に、
01:32:22	またこれ要員費に対しての感度解析であるということを考えてこの地点の感度につきましても、データとしては、目的に照らすと必要であろうと。
01:32:35	いう議論に至りまして、我々ここは必要であろうと。だから設計にももちろん用いないの話じゃなくって、この因子として今日、感度があるかないかを判定するためにはここは必要だろうと。
01:32:49	ということで、このデータを入れることにしたところでございます。考慮の仕方についてはすいません、ちょっと日本原燃から補足いただいてよろしい。
01:32:59	はい。日本原燃の加瀬でございます。こちらにつきましても実際田崎さん浜崎さんおっしゃいました通り、地震応答解析モデル上は側面の埋め込み考慮していないというところでございますけれども、実態として地盤自体は地表までである。改良地盤だったりもしますけれども、
01:33:14	そういったところを、各入れた上で感度分析の方を行いまして、スペクトルの方の比較についてはこの段では行っておくということで考えてございます。以上です。
01:33:27	規制庁羽場崎です。野本さんと加瀬さんの説明は理解はしましたけれども、ちょっとこれは後、後程の08の資料の時も、したいと思うんですけども、
01:33:40	今そうするとスペクトルをここに表記されるっていうのは、実際に応答解析で用いる入力地震動ではないけれども、一応算定すれば出てくる、スペクトルを比較するというふうに理解しましたがそれでよろしいですか。
01:33:55	はい。日本原燃のガスでございますおっしゃる通りの認識でございます。
01:34:00	はい。わかり、規制庁わかりましたちょっと詳細についてはですね同じように表層を無視しているモデルが幾つもあるんでその妥当性の話だとかですね後程、
01:34:11	08の方で議論したいと思っております。

01:34:15	17 ページの表記に関しては理解しました。引き続いてで申し訳ないんですけども、ちょっと規制庁浜崎ですけれども今日この
01:34:25	想定といいますか資料の説明、ちょっと作り方、これ大した話じゃないんですけども、
01:34:32	ちょっと今回結果の 17 ページから説明されてるんですけども、
01:34:38	例えば 7 ページの四つのスペクトルってこれ中央地盤で、これはまだいいんですけども、9 ページかな、9 ページにいきますと、上の、
01:34:48	上の二つのスペクトルってこれ中央地盤で、下の地盤は西と東となります。
01:34:57	最終的に平均地盤平均地盤モデルっていうのはどうなるかってわかんないんですけど、基本的に現段階では事業者は、東西中央三つ地盤系のものをモデルといたしますっていう考えがあるわけなんで、それぞれの比較という観点では、
01:35:11	例えば中央地盤の中でグルーピング、この因子の影響を見ますと、東地盤ではこういう結果になります。石島では計画、こういう結果になります日時は舞子しかグループ内んですけども、
01:35:26	要はその東西、中央でのそれぞれの感度解析のスタッフ、そういう資料の工程にしてもらいたいというふうに考えますが、組み替えだけって言えばそうなんですけども、
01:35:40	こういった変更という可能でしょうか。
01:35:46	団体電力の方でございます。はい。
01:35:50	お答えはは以上でございます。今回ですね追加の部分を
01:35:56	まずご報告すると言う立場でのこれ浩ですので、今回追加分とそれから前回にお出した分というようなくくりで出しておりますこっから先今おっしゃっていただいたような、そのエリアごとのまとめて分析という立ち位置かなと思ったのでこのようなまとめをしておりましたけれども、
01:36:15	これ並び替えるというだけでお示しするという事は可能ですので、対応させていただきたい。
01:36:23	以上でございます。
01:36:25	はい、規制庁羽ばたきです対応の方お願いします。
01:36:28	あとこれも非常に細かい話ですけども 6 ページの方に、説明方針ということで文章書かれてるんですけども

01:36:40	の中に幾ら政府とか、2とかいう説明がここにはないのか、寺地の方にはあってですね要はその建物を、
01:36:50	グループの中でも建物によって、幾ら政府が入力になってたり、右が入力になっているというところがあるんで、ちょっとそれがわかるように、6ページ、或いはスペクトルの中でもですね、
01:37:04	この建屋はプラス、この建屋は2だというのがわかるように、記載を、
01:37:10	拡充してもらいたいのが1点、それからこれは今回はSs-Aについて実施してますというのがわかるように記載をしてもらいたいというふうに思います。
01:37:19	よろしいでしょうか。
01:37:22	はい。日本原燃の長谷でございますかしこまりましたは、2なのかプラスSなのかと今回はSs-Aだということをこちらが説明を信頼し説明事項のところでわかるように
01:37:32	記載のほうを改めさせていただきます。以上です。
01:37:36	はい、規制庁浜崎ですSs-Aってスペクトルのところに全部書いてあるわかるってわかるんですけども、6ページのところに、そこはやっぱり謳っておいてもらえればと思います。私からは以上になります。
01:37:49	規制庁上出です。先ほど規制庁が見えず、先ほど
01:37:56	東西中央で分けると、
01:38:00	言われてましたけど、一方で、前回示したものはそれでまとめたみたいな話されてましたが、
01:38:09	それで言うと、
01:38:11	20ページは、そこがわかるようになっていて、ピンクの枠で囲んでるところが今回の初出しです。
01:38:20	黄土色は、前回出しましたってということなので、この凡例をそのまま前の表にも持っていて、
01:38:29	表のケースで、
01:38:32	の色、ピンクで、
01:38:36	下掘ったり黄土色で囲ったりっていうので、表現できるかなと思いますけどいかがですか。
01:38:44	はい。日本原燃の長谷でございますかしこまりました前回示したやつがどれかというのがわかるようなところが後ろの図とひもづいて同じような色でわかるように、はい。資料の方、対応させていただ

01:38:57	はい。規制。
01:38:59	藤。
01:39:02	例えば、
01:39:04	8 ページぐらいかな。
01:39:07	1 ページはいいと思いますけどとりあえず、上の方の、
01:39:12	■、そして矢印の、
01:39:16	全体として優位な層を与えないという
01:39:20	とりあえず書いてはありますけど、
01:39:28	団体電力の方でございます。ここはですね分析結果を示してるようなつもりはございませんで分析は次以降だというふうに考えてございます。
01:39:36	ちょっと見た目のところを何か言及しておこうというところでは書いていますのでこれは見たところの我々の印象をかけるというような位置付けであると。
01:39:49	いうふうにご理解いただければと思います。以上でございます。
01:39:52	はい。規制庁岡見です。分析じゃなくて、見たってっていうぱっと見の所感みたいな感じだと思いますけど。
01:40:01	それにしても、8 ページなんかは、何か全体として有意の差を与えないっていうほどの1度ではないと思ってるんです。なんで、
01:40:12	これから書き直すつもりなのか、もうここは、
01:40:18	データを見て、自分たちの気持ちもう表れているのか、そういう意味でのステータスで聞いたんですけど、いかがですか。
01:40:26	関西電力の能登でございます。はい。おっしゃる通りちょっと主観が入ってしまっているところがあるなど、今ご指摘いただいてこちらでも話ししておりました。誤解を与えないように、少し見た目の所管であれば所管であるということがわかるように、記載を改めたいと思います。以上でございます。
01:40:45	はい、規制庁過密なので思いとしては、まだこれからなんだろう。中身というか、評価を変えるわけではなくて、
01:40:56	思いがこもっているというか、いずれにしてもそういう見立てですということ全体として、入力地震動に有意な差を与えないという思い、
01:41:09	は、今現状、
01:41:11	そういう思いを持たれているということですか。
01:41:17	赤田電力の方でございます。それはおっしゃる通りでございます。

01:41:23	はい。規制庁深見です。ちなみにその例えば、
01:41:29	G14 とかは結構水色が
01:41:34	全体として入力地震動に有意な差を与えた。
01:41:42	関西電力の方でございませうおっしゃっていただいたところでは中でも我々も議論してましてそういう意味でですね、今回これ分析として、有意な差は出ないということはまだちょっとできる段階ではないなということ我々考えてございます。
01:41:58	ですのでちょっと書き方といたしましてですね、こここのところは、今回その分析加えるもんじゃなくてその場所によってやっぱりこういうふうなバタついているものをどう考えるかということも不
01:42:10	含めまして今後の検討としていきたいという意味であるというふうにご理解いただければというふうに思い
01:42:17	と、規制庁紙です資料がどうなっていくかっていうことが気になっていて文言として全体として有意な差を与えないっていうのが残る。
01:42:28	と書いていいんですよ。
01:42:30	これに対してこの表記の位置付けっていうのを解説をかけますということで、
01:42:38	関西電力の方でございませう。有意な差を与えないという表現は、でいただきたいと思ひます。
01:42:45	以上です。
01:42:46	はい。規制庁、鏡です。そうするとどんな感じで、やるのか、もしくはこれから、
01:42:54	ちょっと考えなきゃっていうことなのか、どんな感じですか。
01:43:10	関西電力の方でございませう。すいませんちょ、ちょっと今十時でしまつてすいませんご質問いただけますでしょうか。
01:43:17	はい、規制庁関係図、なので表記が変わるということなんですが、
01:43:26	と今どんな感じにしますということなのか、まだ何か
01:43:33	物をまた提示する。
01:43:39	また入力の方でございませう。ですね。イメージ。
01:43:43	表層地盤のところ、
01:43:46	記載に、似たような形といいますか、その設定の機械は規模のグループにおいて、技術に差を与える傾向とかこういう見た目の

01:43:57	技術関係だけを書くような形にしたいかなというふうに思っております。
01:44:02	はい。通帳上津わかりました。
01:44:07	私からは、
01:44:08	はい、以上です。
01:44:13	規制庁の岸野です。
01:44:16	すいませんちょっと戻っちゃいますけど、先ほどの浜崎と宇野さんとのやりとりで一つわからなかったことがあったので、1点だけ確認なんですけど、
01:44:25	浜崎からですね、表層どのパラスターに関して今後その深度依存ありとかも検討していくのかっていう質問に対して、
01:44:36	友野さんのご回答が、
01:44:38	ちょっとよくわかんなかった。それはもうイエスということによかったのかなと思ったんですけど、尾野さんのご回答が、深度依存の平均で進めていくってというようなことをおっしゃったように聞こえたのですが、
01:44:49	これはどういう意味だったのかで浜崎さんの浜崎の質問に対して回答はイエスのかどうなのか、そのあたりもう一度教えていただけますか。
01:45:00	これ設計のものでございます。
01:45:04	よろしいですか。
01:45:06	はい。
01:45:10	そういう思いでこれから根拠の方を出して行ってですね。
01:45:16	深度方向依存平均値というものが、妥当であるかということですね、ご確認いただいていこうというふうに考えており
01:45:26	規制庁の岸です。もう一つ確認です。深度方向依存平均値ってどういう意味なんでしょう。深さ方向に値が増加していく条件でやっていくと考えたんですけど、
01:45:37	それを、そうじゃなくって深さ方向にも一括の辺りに平均しちゃうという意味だとすると、全然認識が違うなと思ったんですけど、どういう意味なんですか。
01:45:49	遠田関戸でございます。失礼いたしました。
01:45:53	深さ方向の平均値と言ってるのはですね、一時回帰した平均値といいますか、深度依存式ということですよ。



01:46:04	それを基本的な解析表層の物性値として評価していくということでございます。はい、わかりました。そういうことでしたら認識は合ってると思います。はい。ありがとうございます。
01:46:31	その他規制庁側で確認はございますでしょうか。
01:46:37	よろしければ、下の方から、この資料の修正方針とあとスケジュールについて説明をお願いします。
01:46:51	はい関西電力の菌田でございます。資料の修正加工品ですけれども、まずこの比較データにつきまして、東西強での分類。
01:47:07	をするというので、このグルーピングのやり方を変えると。その時には、最終ページのマッピングを紐づけて、やらせていただくと。
01:47:20	いうことを修正いたします。
01:47:23	それから、活躍2のその建屋によって、その記載というのを追記していくというところをさせていただくことになってございます。
01:47:33	それから3点目ですね、3. 名は、岩盤部分の安保
01:47:42	看板の方の地盤物性の設定に対する、下のところで、油井の川田稲井というところの記載を削除いたしまして、最後の表示の記載に見たような形の文章に修正したいというふうに思います。
01:48:00	変わりましたっけね。すいません。4ページ目から、
01:48:10	はい、以上でございます。
01:48:15	はい。規制庁の竹田ですありがとうございます。修正資料はいつごろ、出せそうでしょうか。スケジュールの見込み等もあればお願いします。
01:48:26	18日火曜日のご提出を考えてございます。
01:48:32	はい。規制庁竹田です。はい、わかりましたありがとうございます。
01:48:35	今の説明につきまして規制庁側からコメントがあればお願いいたします。
01:48:49	すいません。衛藤。
01:48:51	提出資料ですか18日の何時頃になりそうでしょうか。
01:49:02	はい、管理部の方でございます。16時でいかがでしょうか。
01:49:06	ちょっとこちらの都合もありまして、次、午前中にいただくことは可能でしょうか。
01:49:13	関西電力の方でございます少々お待ちくださいちょっと可能かどうか確認いたします。

01:49:33	浅井電力の方でございます。努力をするということで、13時提出とさせていただきますたく存じます。
01:49:42	はい。規制庁竹田です。はい、わかりましたそれでは13時。
01:49:45	の提出ということでお願いいたします。
01:49:49	それでは、審査会合資料の確認としては以上とさせていただきます。
01:49:55	それでは続けた人だけの08の方ですね。
01:49:59	こちら面白いについて、
01:50:02	事前に確認をしておりますが、何か補足で説明がございますでしょうか。
01:50:09	赤田電力の方でございます補足は特にございません。先ほど安宅土肥坂口様と同様でございます。以上でございます。
01:50:17	はい。規制庁の竹田です。はい、ありがとうございます。
01:50:20	では今年につきまして規制庁側から確認があればお願いします。
01:50:28	すいません、大島笹木です。私の方から、
01:50:31	ちょっと8ページに、検討対象グループの各建屋の説明がありますて、
01:50:40	これは先ほど大野
01:50:44	介護資料でも話題になりました入力動の設定がですねE+Fであったり、任意であったりというのが混在しているわけです。で、特にZ、
01:50:56	G-14の、
01:50:57	グループのところには、例えば緊対なんかは、地下1階を有する建物であったり、第1保管庫についても、地上2階地下1階の他、
01:51:08	基本的な建物といえる構築物があるわけですが、
01:51:13	これらについても
01:51:16	計算書を見る限りでは、表層を無視した形で、入力地震動は2にしていますという説明があるわけですが、実際ですね、
01:51:28	これ先ほどちらっとご説明されたように、埋め戻しがされている状況だとすると、なぜ任意でいいのか、或いはですね、この
01:51:39	埋め、表層地盤を無視するモデル場と、そうでないモデル化、その違いをどのようにして設定したのか、その考え方について説明をしてください。
01:51:54	はい。日本原燃の加瀬でございます。まず事実関係の認識につきまして、は浜崎さんがおっしゃられた、おっしゃった通りのところでございます。こちらのZとG13につきましては地震応答解析上側面ばねしっかり

	埋め込みを考慮していない、任意の入力でやっているというところがございますが、
01:52:10	その思想といたしましては、今回の新設だということもございまして舛田のところから提携するそういったときに、保守的な設定で何かしら設計をした方がいいんじゃないかそういった思想に立ちまして、入力をしたというところがございます。
01:52:24	大体イメージとしてはお持ちかもしれないんですけども、地震の入力地震動というところで行きますと、地中はっていうところよりは、どこかでオープンにしたところに伴の方が比較的大きく出る傾向がございまして、建物への影響をそういったところの耐震評価を保守的に進める上で2を
01:52:42	設定したというところがございます。それを計算書に載せておるところでございますけれども浜崎さんおっしゃっている内容は重々承知ですねこの間の耐震建物 01 の時にも同様の
01:52:55	ご質問をされていたというところは認識してございますので、今後の今の準備をして、説明しているところがございますけれども、そういった人属しているところが果たしてそれで大丈夫なのかというご指摘になっているのかそういったようなところのご説明ができるように準備の方を進めているところがございます。
01:53:11	そういった確認をもって今のモデルというところを使うことに問題がないかというところを説明するまでが、セットだと思っておりますので、ちょっとそういう対応ができるか今検討をしているところがございます。ステータスのご説明でしたけれども、以上です。
01:53:25	はい。規制庁浜崎です。今後説明があるということであり、きょ、現時点では理解しました。その時にですね瀬戸と加治 14 東側違う。
01:53:35	あ、あ、すみません、規制庁さん。
01:53:39	上出です。
01:53:40	はいどうぞ、今岡さん、保守的だということを証明するみたいな話してましたけど、
01:53:48	そもそも、
01:53:50	何か保守的だったらいいんだみたいな、設計思想新設は保守的になってりゃればいいんだみたいな設計思想も説明されてないので、

01:54:00	もともとのコンセプトのところから、ちゃんと説明できるようにしてください。大丈夫ですかね。
01:54:09	はい、文献名は制作部会でございますので、またその考え方のところから説明するように、
01:54:16	はい。上出から、以上で沢崎さん。
01:54:32	大丈夫です。浜崎さんお願いします。
01:54:37	ごめんなさい。理由としてました
01:54:41	先ほどの話で、ZとかG14のグループに関しては東ガード地盤に関しては、グルーピングの配置図を見てもですね、表層に相当する、
01:54:53	緑の試験の印がほとんどないんですけれども、その場合に表層の物性というのはどういうふうに決めるんですか。
01:55:08	はい。日本原燃の加瀬でございます。そちらにつきましては、現在こちらのレッドG13周辺というのは、こちらの、以前埋戻しの分布図みたいなところ別のところの、
01:55:19	図でお示ししていたかと思うんですがこちらのAとG14のあたりは埋め戻しとか属しているのではなくて、周辺は流動化処理どうに戻しているようなところでございます。ですのでそちらの物性値を設定してあげるというところでまた近くに流動化処理どうで、
01:55:34	調査結果えられているところございますので、そちらの方を使って直轄7から見るという
01:55:40	ような形で比較残したいと考えているところでございます。以上です。
01:55:45	規制庁浜崎です。今大橋さんの説明っていうのは、今まで我々説明を受けてない話。
01:55:51	というふうに理解していいんですが、それでよろしいですか。
01:55:56	はい。日本原燃の加瀬でございます。今までご説明していなかったですというのも先ほどのご質問にもありました通り、レッドとかにつきましては表層地盤を設計として考慮していないというところございましたので、御説明からちょっと外してしまっていたという、そういったようなところの事情で
01:56:13	説明はしていなかったところでございます。以上です。
01:56:16	はい規制庁は羽ばたきです。わかりましたそしたら今後説明を聞き、伺いますので、その時には表層部分、加療ですか

01:56:27	的にはこの表層部の形状だとかですね、深さ方向の状況だとかも含めて説明をしてもらうというふうに考えてます。その前提リスト。
01:56:40	この資料っていう、いうふうに考えてます。SA 立法のピーク時の検査法等の対応のところ、下の二つの行になりますシュレッドチーズ 4 が、
01:56:53	今、表層地盤の物性値のところ、
01:56:57	浦崎部長も磁場印になってますがここに何らかの情報が入ってくるというふうに日本原燃の勝でございます。おっしゃる通りこちらの ZG のところで、その表層の参照法というのが出てくる
01:57:11	というような形になってございます。これ先ほど申し上げました流動化処理場というところになりますので、今書いてあるこの緑っていうところが、今埋戻し動のところの精緻だったわけなんですけれども、その辺とはちょっと分けられる形になるかもしれませんがこちらにも情報が加わるようなところを考えてございます。
01:57:27	以上です。
01:57:29	はい。規制庁浜崎ですわかりました。
01:57:32	ちょっと最初の話に戻るんですけども、8 ページで 2 で、要は表層を表評価している場合と評価してない場合の、モデル化の考え方をご説明されるということなんです、
01:57:45	この 08 の資料を見る限りでは、任意入力の場合、建物に関しては、その表層の物性値の影響のですねスペクトルの比較、
01:57:58	具体的には 102 ページぐらいからですかね。
01:58:01	ここにはすべて入力のスペクトル図の比較が入ってませんが、今後は、そうすると、どうなるんですか。
01:58:26	はい。日本原燃の長谷でございます。ちょっと軽重があるのかなという気もするんですけど勤怠とか、貯水槽観光というのはやはり深井青田、浜崎さんも建物の構造の、
01:58:37	大体のイメージがあると思うんですけども、地下階を大きく有しているというところでございますので今お話したような議論あるかと思えます。一方で屋外機械基礎に当たるようなところというのは、こちらにつきましては地表に益子がぱっと打ってあるようなそういうような状況になってございまして、埋戻し動画周りにはあるんですが、

01:58:54	その厚さも1メートルとか、そういったようなオーダーになってございますので、こちらにつきましてはがんのところの影響を見るというところで十分なのかなというようにところ、埋め込みによる影響というところはあまり関係、考慮
01:59:06	なんていうんすかね、設計上見るほどにならないのでというふうに考えてございるのが今のちょっと思想でございました。以上です。
01:59:14	はい。規制庁浜崎です概ね、こちらの例えば第1回で等を議論しましたですねFBのような基礎、あれに関して
01:59:25	ウェブ込み部分の影響を見るなんていうのは、あまり工学的に意味がないというふうに思ってます。
01:59:31	ただ、z周辺にあります四つの施設、
01:59:35	これはやはりそこそ、相当程度ですね見込みを持っている、あとG14の
01:59:42	保管庫であったり軽油貯槽についてもですねこれ地中構造物にショートするようなものなんですけども今、表層部分をとっぱらったようなモデルになってるというところで、
01:59:53	その扱いについて注目をしてます。
01:59:57	それからちょっと一緒に行ってみますと、自営グループの移動用の現調、燃料タンクですね、これに関しても
02:00:07	ほぼ地中構造物といいますか、
02:00:11	どの、どのようなですね、構造物等に今表層の内、
02:00:17	モデルで渡嘉敷やってるというところで、これについてもこちらとしては、本当新井田というふうに疑問を持っています。
02:00:27	あと最後に主流でごめんなさい、主排気塔ですね。
02:00:31	ここもですねかなり10メートル以上欲しいそうとの間がありますでフーチング等があるんですけども、本当にこれ入力でいいのかとかですね。
02:00:42	非常に疑問を持っていますので、まずやはり軽重があるというのは理解していますので町の方で主、ここは重要だということに関してはきちんと説明をしてもらいたいというふうに考えてます。
02:00:54	趣旨に伝わりましたでしょうか。
02:00:57	はい。日本原燃の間瀬です。趣旨、十分了解いたしました本当の第1回のOBみたいなのを配り載っけたんです。

02:01:06	屋外のベタの基礎に、
02:01:18	日本原燃はすいませんちょっと音声言われたようでしたので止まってしまいました。趣旨、理解いたしましたこちら建物構築物ごとに地中構築物とみなせるようなもの特に先ほど浜崎さんが例示いたしました ZG14 周辺のもの。
02:01:32	それに加えますして他のものにつきましても本当にそうかというところの観点を含めまして、施設に関しましてその条件整理させていただきましてその考え方を述べるようにちょっと準備の方進めさせていただきたいと思えます。以上です。
02:01:46	はい、規制庁羽ばたきです今まさに地盤モデルの妥当性といえますか検討しているわけですけれども、その指標が入力地震動ですと、その入力地震動自体の算定方法がどうなんだというところをしっかりと我々見極めないといけないというふうに、
02:02:02	考えてますので、この説明の方をお願いしたいと思えます。
02:02:07	と、ちょっともう 1 点、私の方から一方最後にしますけれども、もう 1 点、これも、これは細かい確認になりますが、
02:02:17	資料の 16 ページの表の 5-4。
02:02:22	はい。今移りましたけど、これのですね、①のところの埋戻し道路の頭を非線形性の考慮のところですか。これ、飛行量になってますが、
02:02:33	これは誤記ですか、それともここ非考慮なんですか。
02:02:50	町長をもって、
02:03:05	日本原燃の町でございます大変恐縮申し上げ、申し訳ございませんこちら今、羽場早紀さんおっしゃったのは第 5-4 表の埋戻しのところの真ん中非線形性の考慮のところの①が施工量になっていることでございます。
02:03:20	だと思いたんでこちらはすみません、確かにすみません誤記でございましたこちら考慮が正しい液体でございますので改めさせていただきます、
02:03:30	はい、規制庁浜崎です。誤記のないようにお願いしますと今年に関して衛藤高岡がいいと思えます。
02:03:40	規制庁の竹田です。同じ表で 1 点確認なんですけれど、
02:03:46	解析分析係数の①のところのアスタリスクがついているんですけれど、その説明を見ると、

02:03:55	中央西側東側ごとに設定した共通の、
02:03:59	地盤モデルと同じモデルっていうふうには書いてあるんですけど。
02:04:05	これを見ると表層地盤が何か3エリアで分けられてるような記載に見えるんですけど、これは間違いでしょうか。
02:04:15	はい。日本原燃の加瀬でございます。大変申し訳ございません。こちら5-1表の岩盤部分については必要な注記でございますが、すいません。表層地盤の部分のところにつきましては不要な注記でございましたので、削除させていただきます。以上です。
02:04:28	はい。規制庁竹田です。そうかと思いました。はい。はい。ご注意を願いたい。
02:04:39	ちょっと
02:04:43	10ページですね。
02:04:47	岩盤の岩盤部分の減衰定数の説明を見ますと履歴減衰のみを考慮した場合書いてあって、
02:04:57	表3の方を見ますとこれは-で、等価線形解析を基本とするって書いてありますけど、
02:05:04	これは同じ意味でしょうか。
02:05:07	違うならこの表現を変えた理由、意味するところの違いっていうのを教えていただけますか。
02:05:19	日本原燃の大橋でございます。大変申し訳ございませんちょっと質問の趣旨を理解しきれず大変恐縮でした。今の非線形性のところに-と書いてあって、等価線形解析による評価を基本とするというふうには書いていた趣旨としては、
02:05:34	我々といたしましては非線形性、いわゆるひずみ依存性を考慮したものとしてもデフォルトとして考慮いたしますので、パラメータ変動の分析というのは対象外としてますという意味で、ちょっと書いていたところですがすいませんちょっとお答えになっておりませんが、
02:05:48	ちょっと、はい。取水口来ましたら、もう一度お願いできると幸いです。
02:05:52	規制庁の岸野です。かえってちょっと認識は、理解が間違ってたのかなと思ってる再確認しますと、
02:05:59	岩盤この履歴減衰のみを考慮した場合ってのはこのひずみギイ。
02:06:05	レベルに対応して2%を採用して、



02:06:10	表層の方はその1釜曲線上の収束値を採用しているということで記載を変えたのかなあと思っていたんですけど、理解間違ってますか。
02:06:25	はい。日本原燃の大橋でございます今岸野さんおっしゃったご認識の通りだと思います。はい。
02:06:30	設置後の差異、わかりました。そうす。そういう意味合いでちょっと表現変えてるということだとすると、
02:06:38	15 ページの方に、埋戻度はこれ履歴減衰考慮ってという言葉を使ってて、岩盤と同じ設定というふうにも読める。
02:06:46	ですね。
02:06:48	また16 ページの方で、岩盤には履歴減衰数として書いてあって、10 ページで履歴減衰のみを考慮した場合と何か表現が変わって何かそれぞれ意味が違うように思うんですけども、この辺りってというのは、
02:07:01	何か
02:07:02	意味するところを書いているがゆえに表現を変えているのか。
02:07:06	単に不整合不統一なだけなのかそれはどちらでしょうか。
02:07:12	はい。日本原燃の間瀬です意図するところは変わりませんので表現のブレイズがありました。修正させていただきます。以上です。
02:07:20	清町の岸野です。はい御配りました。お願いします。
02:07:24	あと18 ページから、院長浜崎委員すみません。
02:07:27	季節は他県すいません、今の点ちょっともう1回、確認したいんですけども、これ一番最初に出てくるのがですね、9 ページのところですね。
02:07:38	9 ページの、3.1 のパラグラフの下から3行目に、
02:07:43	履歴減衰と散乱減衰を考慮した云々って出てくるんですけども、
02:07:47	今後、
02:07:49	減衰としては、どういう表現に統一されるんですか。
02:08:02	日本原燃の生越でございます。ちょっとすいません。感がながらのところでございますけれども、今、実態といたしましてはすみません10 ページの表のところでご説明しますと、岩盤部分の減衰、
02:08:17	のところにつきましては、パラメータの変動としては、実際この履歴減衰を考慮した場合として先ほどの岸野さんおっしゃった大体2%とあと尺に基づく履歴+散乱ってところの3から5%、今ですと我々3%というところをパラメータとして感度分析とおっしゃっていますので、そちら自体を使っていることは間違いのないところで、

02:08:37	ございます。ですので、今回のこの3%の感度分析における3%のケースに相当する言葉といたしましては、こちらの先ほど羽場早紀さんおっしゃった文章であります履歴減衰と散乱減衰を考慮した値この言葉自体はこのままなのかなというふうに認識している次第でございます。
02:08:55	以上です。
02:08:57	規制庁法的ですちょっとこれ技術的に細かい話になっちゃうかもしれませんが、今これ一連の解析っていうのはSHAKEんでやってると思うんですが、その場合に散乱減衰っていうのは評価に入ってるんですか。
02:09:09	具体的に。はい。日本原燃の長谷でございますおっしゃる通り一次元の成果の段階では散乱減衰というものは考慮されないというところでございます。で、こちらにつきまして減衰定数につきまして今後考察、分析深掘りといったところをやっており、やって参りますけれども、
02:09:25	実態として敷地として獲られているところの観測記録、そういったところの分析を踏まえますと、当然観測記録というものは散乱の減衰なんかも入っているものとして出てきますので、そういったところの観測記録に基づく減衰定数、
02:09:38	そういったものを見ていきますと、何%ぐらいが妥当なのだろうかとか取れるのだろうか、そういったところの検討を示していきたいと思っておりますので、いわゆるSHAKEではその産卵も履歴も入れたなんていうか、見かけ上の減衰そういったものを与えてあげるのが妥当だというふうなところを考えてございますので、そこをご説明できるように現在資料
02:09:58	検討を進めております。以上です。
02:10:01	はい規制庁は田崎です。今の大橋さんが説明されようとしていることは、減衰も評価する、状態に応じて使い分けた表現をしますというふうに理解をしましたが、
02:10:14	例えば弱にもありますような内部減衰だとか材料減衰というので1括りではしても
02:10:22	今回のこういった検討ではおかしくないかなというふうに思ってますんですね事業者の方ですね、使い分けをする考えますっていうならそれはそれでいいんですけども、

02:10:33	今後、そこは使い分けるならきちんと間違いなく、ないように、使い分けをしてもらえればというふうに思います。以上です。
02:10:42	はい。日本原燃尾鷲ですかしこまりました。
02:10:46	説の岸野です。あと1点確認したいのがですね、
02:10:51	18ページから21ページにかけて、周辺グループの
02:10:57	スペクトル図が出てる。
02:10:59	もう、
02:11:00	へえ。
02:11:02	じゃない中、
02:11:04	21ページの主排気塔以外の建屋っていうのはほとんど、
02:11:10	青も苦労もほとんど差がないんですけど、ただ建屋ごとに見ると、当然ながら、微妙にそれぞれ建屋ごとに特徴が出てるんだろうと思いますが、
02:11:20	18から21ページの一連の出力で、
02:11:25	その縦ごとにリアルさが出てるっていうのは、出力位置が、だけ基礎下レベルで出している関係で縦ごとにその基礎下レベルが変わっているから、
02:11:38	と差が出てくるというふうに考えて良いのですか。この18から21ページでその出力条件として他に何か差があるなら教えていただけますでしょうか。
02:11:55	はい。日本原燃の長谷でございます実際岸野さんが今おっしゃった通り出力深さの問題、それだけになるというふうに考えてございます。
02:12:03	規制庁の木嶋ですはいわかりました。
02:12:06	あと収益等についてはパイプじゃなくてマニーで出してるということで他の建屋に比べると大分様子の違ったものが出てきているというところも、この一覧のグループの中では、
02:12:17	出力条件の違いなのかなと思うんですけども、
02:12:21	こういった説明が全然ないので、そこら辺はどういう条件で出力してますよっていうのはちゃんと説明をしていただければと思うんですけども。
02:12:33	その点よろしいですか。
02:12:36	はい。日本原燃のガスですかしこまりました今後低下していきます考察の中でもそういったところ触れるつもりでございましたので、それらと

	あわせて条件もわかるようにセ記載のほうを充実させていただきます。以上です。
02:12:49	成長の中ですはいお願いします。今回ですね感度分析という名目でいろんなパラメータを変えた結果を出していただいているわけなん。
02:13:00	で、どういうパラメータをどういうふうに設定して、その結果出力もどういう条件で出しているかといったところを、
02:13:09	資料上はですねちゃんと説明していただかないと、
02:13:13	この違いは何だろうとか、これはどういう条件で、どういう状況が違うのかなっていうあたりがちょっとわかりにくくなってるかなと思いますので、その点はですね今後ちゃんと意識して、
02:13:24	資料の方で
02:13:28	混乱や不足がないように、説明をちゃんとしていっていただければと思いますのでよろしくお願いします。
02:13:37	はい。日本原燃の長谷です。我々といたしましても当然どういうモデルを設定してどういう物になってるかとかそういうのがないと考察になりませんのでそこは追加する予定でございますので、すいません今回つけておらず、申し訳ないんですが、次回考察とともにそちらもわかるように、資料のほう充実させます。以上です。
02:13:54	成長機能ですはいよろしくお願いします。私から以上になります。
02:14:02	規制庁上出です。できれば、野本さんにお答えいただきたいんですけど、
02:14:10	資料だと7ページに、また、
02:14:13	配置図出てますけど、
02:14:15	今回出てきている結果っていうのは、ここで、
02:14:24	何ていうか青色っていうかですね、塗られてる建屋だけで、Ssで評価するものってほかにも波及影響を考慮する施設みたいのが、
02:14:34	あるんですけど、施設の結果が今回出ていないっていうのはどういうことなんですか。
02:14:50	関西電力野本でございます。ちょっと、もし間違ったらすみません日本原燃から手入れていただきたいんですけども、基本的に今おっしゃってる通りですね塗らずというところで
02:15:02	取ったボーリングで、設定はしていった波及的影響に関わる周辺建屋のところは、その周辺のなんつうか同じ余計なところということで、

02:15:15	近傍のデータ使った評価ということになっていくというふうに考えてございます。それがあある意味このですねエリアでこういうふうに区切って、
02:15:28	と設定しておりますので、そういう観点でいくと、これでそれほどおかしくはないのかなというふうに日本原燃が考えているところでございます。以上でございます。
02:15:40	藤規制庁紙です。ちょっとよくわからなかったですけど
02:15:45	いや、
02:15:47	メインのところ、色塗られている建屋で、
02:15:51	検証しておけば、代表できると。
02:15:54	同じ考えが適用できるから波及影響者を、わざわざ今回検証加えてやる必要はないということですかね。
02:16:07	関西電力の郷でございます。加える必要あるなしというよりはですね、今マッピングの中で、エリア囲っておりますけども、そのエリアを、この書いております PS 検層のデータで徹底しているという考え方にのっ
02:16:25	というふうにご理解いただいた方が我々の理解と近いというふうには思っております。以上です。
02:16:32	規制庁岡部です。ちょっとよくわからない。
02:16:36	ええんですが、具体的に言うと、
02:16:42	喜多菅鬼頭ごウツテわかりますかね。西側地盤にあって、
02:16:50	All ってあるところなんですけど、ここ今西側地盤の平均モデルでやって
02:16:57	ていると思うんですが、
02:17:02	結局、どうなるかわかりませんが、AKBW とか KB とかですね、この辺の建屋が直下でやんなきゃいけないねと。
02:17:12	ということになったら、自動的に II も直下でやるし、
02:17:20	一方で A 系 BW 系 B が平均でいいねと、西側の平均使えば大丈夫だねとなれば、All も同じく平均を使うと。
02:17:31	ということですか。
02:17:36	関西電力の方でございます。はい。おっしゃった理解を我々もしてございます。以上です。

02:17:42	はい。規制庁、深見です。わかりました。で、聞きたかったとそういう話を、あらかじめヒアリング臨むにあたり、原燃の人とも話ができているのか。
02:17:53	今、
02:17:55	はいどうなんだっけっていう状況なのかその辺のそのコミュニケーションの状態って今どんな感じですか。
02:18:02	関西電力の郷でございます。今の波及影響建屋の話につきましては、事前にどうこうというような情報交換といいますか私が勉強する時間がございませんでした。今ここで確認をとって、今お答えされない次第でございます。以上です。
02:18:19	はい。規制庁深見です。で、もう1個聞くと、判例見ると、屋外重要土木構造物っていうのがあってですね。
02:18:28	これは道道なんですけど、
02:18:33	この西側と中央をこう跨ったりするんですよ。この辺もどう考えるのかっていう話なんですけど。
02:18:43	その辺も、事前のところでは、原燃とはあんまり話ができなくてことなんですかね。
02:18:50	赤瀬。関西の方でございます。それははい、まだ花木ってございません。今後ちょっと分析についてよくコミュニケーションとって確認して参りたいと思いますけどもちょっとその中で確認して参りたいと思います。
02:19:04	以上です。
02:19:05	はい。規制庁神戸ですまだ体制、動き出してすぐだっていうことなんで当然話できてないことに対してどうこう言うつもりはないんですけど、
02:19:16	今話題に挙がってる古藤だけ。
02:19:21	が本当に解決すべき問題なのかというところではなくてこれまでのヒアリングでもいろいろ話をしている中でまだ刈り取っていない宿題とかもたくさんあります。
02:19:35	ので、
02:19:37	なるべくその視野押せマークならず、大きな広めの視野で野本さんも確認していただいと。
02:19:47	ということで今後しっかりよろしくお願ひしますということなんで、

02:19:55	関西電力の方でございます。ご承知の通り私きれん側の人間なもので大変ちょっとこういう形ですね、今赤嶺さんのお問いに、自分の頭で答えることができなくて、ご迷惑をおかけしているようなところでございますけれども、
02:20:09	おっしゃる通り、このですね審査を全般私、担っていくような形になるという認識してございますので、頑張っってキャッチアップして参りたいと思います。よろしくご指導よろしくお願ひいたします。
02:20:23	はい。規制庁神ですよろしくお願ひします。私の方からは以上で、
02:20:32	規制庁は滝です。すいませんちょっと追加で申し訳ない。
02:20:39	いいんですけれども、
02:20:41	例えば、z 周辺にある E-4 の検層 1 個、
02:20:46	或いは E の領域にある上、一番北側ですね、D6、
02:20:53	の A 棟を検层高。
02:20:56	これは、
02:20:58	なぜ、Z 或いは E のエリアに含まれ、含まないんですか。
02:21:03	要は、このエリアの設定権層厚との関係っていうのは、どういふ判断で決められた、決めているんでしょうか。
02:21:14	はい。日本原燃の長谷でございます。考え方といたしましては、各建屋を見たときに、その直下にボーリングがあるかないかでまず判断をかけまして、それがあつる場合にはそれを採用し、他のものにつきましたはわざわざ入れていないといふところ、そういった意味で今回こちらの z 周辺につきましたは、
02:21:33	バーw バー法と、バーに通行い良いチューバー方へといふところが、この直下に実際にありますのでそれを参照することといたしまして、離れているところの飯尾につきましたは考慮していないといふようなところになっております。
02:21:47	考え方としての基本としては以上でございます。
02:21:51	はい、規制庁は田崎です。直下がある場合はその直下のみを使うといふことで理解をしました。
02:21:58	そういった説明をですね、今後このグルーピングの考え方、関西検層等々の対応の考え方等についても、説明の方拡充をお願ひしたいと思ひます。
02:22:09	よろしいでしょうか。

02:22:15	はい。日本原燃の方は清さんの考え方をお示しするようにします。
02:22:21	はい。すいませんは、規制庁浜崎以上です。
02:22:26	規制庁竹田ですその他規制庁側から確認ございますでしょうか。
02:22:32	よろしいでしょうか、それでは現状の方から、本資料の振り返りをお願いいたします。
02:22:43	はい。日本原燃の長谷でございます。本日いただきました資料のところでございますが、基本的に最初に浜崎さんからいただきました埋め込みのところの考え方、またすいません干場です。
02:22:55	ちょっとここまで放置してたんですけど、
02:22:58	振り返りわあ Steering チームでやらないんですか。
02:23:03	はい。
02:23:04	考えてるところでございます失礼いたしました。ちょっとずつするかもしれないかもしれませんが申し訳ありません。えーとですね、本日のプリ帰りでございます。
02:23:15	まずですね、冒頭にあの辺ありますのが入力人して、冒頭にありました、2に入力を取ってるものはE+Fに上げることっていうのを上本日の
02:23:29	考え方を、を踏まえまして、ここの整備をきちんとすべきということをお願いしております、保守的で良いというだけではなくてコンセプトからちゃんと説明しなさいということをお願いしているというふうに理解してございます。
02:23:44	それからですね、て、
02:23:48	これね、ずっと24ところへと流動化処理の説明をこれまでしていないので、これは今後きちんと説明するべきだということをお願いしているというふうに理解しています。その際には、分布 kgf 笠井どうも、
02:24:03	を考慮する人ということかというふうに理解しました。
02:24:07	それから、ですね、両方ですね。
02:24:12	今、うん。
02:24:17	埋め込み影響のところの話を、いくつかいただいておりますのでそのところをちゃんとやっていくということで、
02:24:26	ですね、1個ずつ、集配系統につきましては2入力が良いのかと、次14、周辺のもの、施設の考え方述べるようにと。
02:24:39	いうところもコメントいただいているところでございます。



02:24:43	それから資料の修正でございますけども 16 ページ目の表の 5-4、遠山部長のところ非線形考慮のところを修正、それから、浅利副参事、コメントいただいているところでございます。
02:24:56	それから 15 ページ履歴減衰考慮のところの表現のずれについては表現の使い分けをちゃんと整理するという事でいただいているところでございます。
02:25:08	全体にですね、このパートの条件は、ちゃんと資料の中でわかるように書くべきということで、これは時間の分析の時にこの内容を基に、
02:25:20	いうことでやる、やっていきたいというふうにお答えしているところでございます。
02:25:25	で、最後に、Ruby6 名の店等をなぜ使ってない。この考え方についてはキャンプ説明を拡充して、ちゃんと説明して参るというところでございます、次、はい。
02:25:38	以上でございます。損して申し訳ありませんでした。
02:25:44	規制庁竹田ですありがとうございます。今の説明につきまして、コメントあればお願いします。
02:25:52	よろしいでしょうか。どうぞ、規制庁幅先です。よろしいですか。今の野本さんの説明にはなかったんですけども、
02:26:03	2 入力の場合の、
02:26:05	今ですね、表層をパラメーターとした表、表層に着目した検討については、今はこの資料には、入力度の比較がないんですが、
02:26:16	次回は、その辺、入力の建物についても、入力等の比較のスペクトルを入れますっていうふうに、最初説明があったというふうに理解し、
02:26:28	たんですが、その理解でよろしいですか。
02:26:34	関西電力の方でございます。失礼いたしましたは、5 人日の通りでございます。
02:26:41	はい規制庁幅的ですよ。お願いします。以上です。
02:26:45	古作です。
02:26:48	振り返りでもありましたけど、
02:26:51	記載の不備が一
02:26:54	目立つんです。
02:26:56	それは

02:27:00	信用会議の時の申請書不憫もあるんですけど、こういう審査会合審査会合資料3で、
02:27:07	ヒアリング資料でもあって、そういうことがないようにというのレビューチームなんかも、これまでやってということで、
02:27:17	なかなかうまく一括、現状だと Steering チームになってと。
02:27:21	ということなので、
02:27:23	野本さん石黒さんにおいては
02:27:27	突然降ってきた場合で降って湧いてきたタスクで面食らってると思いますけど、こういうような状況だということをよく認識していただいですね、どう見ていけば、
02:27:39	こういうミスがなくなるのかというのも、新たな店が、
02:27:44	見れると思いますので対応よろしく申し上げます。以上です。
02:27:50	関西電力の郷でございます。悪さがあるという規制庁殿ご認識理解いたしました。私もちょっと入ったばかりでまだちょっとよくわからないところではございますけれども、日本原燃の中で、改善すべきことがあればちゃんと声を上げて改善して参りたいと思い
02:28:08	以上でございます。
02:28:10	はい、古作ですよろしく申し上げます。
02:28:15	はい、規制庁竹田です。
02:28:18	それでは本日予定していた、資料の確認とは以上になりますが、全体を通して何か規制庁側からございますでしょうか。
02:28:28	よろしいでしょうか。日本原燃の方から何かございますでしょうか。
02:28:36	また電力の方でございます。こちらからございません。
02:28:40	はい。規制庁の竹田です。それでは本日のヒアリングは以上とさせていただきます。お疲れ様でした。
02:28:48	有賀。